

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2023年11月2日提出
【発行者名】	三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 横川 直
【本店の所在の場所】	東京都港区東新橋一丁目９番１号
【事務連絡者氏名】	伊藤 晃
【電話番号】	03-4223-3037
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	国内株式セレクション（ラップ向け）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	１兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2023年5月2日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）について半期報告書の提出に伴う関係情報の更新および商号変更の記載等を行うため、本訂正届出書を提出します。

2【訂正の内容】

<訂正前> および<訂正後>に記載している下線部__は訂正部分を示し、<更新後>に記載している内容は原届出書の更新後の内容を示します。

「第二部 ファンド情報 第1 ファンド状況 5 運用状況」は原届出書の更新後の内容を記載します。

なお、「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況」において、「1 財務諸表」につきましては「中間財務諸表」が追加され、「2 ファンドの現況」につきましては原届出書の更新後の内容を記載します。

第一部【証券情報】

(４)【発行（売出）価格】

<訂正前>

取得申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。

基準価額は、販売会社にてご確認ください。

なお、下記においてもご照会いただけます。

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034（受付時間：営業日の9:00～17:00）

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

（注）基準価額とは、信託財産の純資産総額を計算日における受益権総口数で除して得た額をいいます。

なお、便宜上1万口あたりに換算した価額で表示することがあります。

<訂正後>

取得申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。

基準価額は、販売会社にてご確認ください。

なお、下記においてもご照会いただけます。

三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034（受付時間：営業日の9:00～17:00）

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

（注）基準価額とは、信託財産の純資産総額を計算日における受益権総口数で除して得た額をいいます。

なお、便宜上1万口あたりに換算した価額で表示することがあります。

(８)【申込取扱場所】

<訂正前>

販売会社において申込みの取扱いを行います。

販売会社は、下記にてご確認ください。

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034（受付時間：営業日の9:00～17:00）

<訂正後>

販売会社において申込みの取扱いを行います。

販売会社は、下記にてご確認ください。

三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034（受付時間：営業日の9:00～17:00）

第二部【ファンド情報】

第１【ファンドの状況】

１【ファンドの性格】

（１）【ファンドの目的及び基本的性格】

<更新後>

当ファンドは、主として値上がり益の獲得をめざして運用を行います。

信託金の限度額は、5,000億円です。

* 委託会社は、受託会社と合意のうえ、信託金の限度額を変更することができます。

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会が定める商品の分類方法において、以下の商品分類および属性区分に該当します。

商品分類表

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	独立区分	補足分類
単位型	国内	株式	MMF	インデックス型
	海外	債券 不動産投信	MRF	
追加型	内外	その他資産 ()	ETF	特殊型 ()
		資産複合		

属性区分表

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替 ヘッジ	対象 インデックス	特殊型
株式	年１回	グローバル (日本を含む)	ファミリー ファンド	あり (フル ヘッジ)	日経２２５	ブル・ベア型
一般	年２回	日本			TOPIX	条件付運用型
大型株	年４回	北米	ファンド・			
中小型株	年６回	欧州	オブ・			
債券	(隔月)	アジア	ファンズ	なし	その他 ()	ロング・ ショート型/ 絶対収益 追求型
一般	年１２回	オセアニア				
公債	(毎月)	中南米				
社債	日々	アフリカ				
その他債券	その他	中近東 (中東)				その他 ()
クレジット	()	エマージング				
属性 ()						
不動産投信						
その他資産 (投資信託証券 (株式 一般))						
資産複合 ()						

当ファンドが該当する商品分類・属性区分を網掛け表示しています。商品分類および属性区分の内容については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<https://www.toushin.or.jp/>）でご覧いただけます。

ファミリーファンド、ファンド・オブ・ファンズに該当する場合、投資信託証券を通じて投資収益の源泉となる資産に投資しますので商品分類表と属性区分表の投資対象資産は異なります。

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しています。

商品分類の定義

単位型・追加型	単位型	当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行われないファンドをいいます。
	追加型	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。
投資対象地域	国内	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	海外	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	内外	信託約款において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。
投資対象資産	株式	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	債券	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	不動産投信（リート）	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	その他資産	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式、債券および不動産投信以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	資産複合	信託約款において、株式、債券、不動産投信およびその他資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。
独立区分	ＭＭＦ（マネー・マネージメント・ファンド）	一般社団法人投資信託協会が定める「ＭＲＦ及びＭＭＦの運営に関する規則」に規定するＭＭＦをいいます。
	ＭＲＦ（マネー・リザーブ・ファンド）	一般社団法人投資信託協会が定める「ＭＲＦ及びＭＭＦの運営に関する規則」に規定するＭＲＦをいいます。
	ＥＴＦ	投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号）第12条第1号および第2号に規定する証券投資信託ならびに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいいます。
補足分類	インデックス型	信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
	特殊型	信託約款において、投資家（受益者）に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいいます。

上記定義は一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」を基に委託会社が作成したものです。

属性区分の定義

投資対象資産	株式	一般	次の大型株、中小型株属性にあてはまらない全てのものをいいます。
		大型株	信託約款において、主として大型株に投資する旨の記載があるものをいいます。
		中小型株	信託約款において、主として中小型株に投資する旨の記載があるものをいいます。
	債券	一般	次の公債、社債、その他債券属性にあてはまらない全てのものをいいます。

訂正有価証券届出書（内国投資信託）

	公債	信託約款において、日本国または各国の政府の発行する国債（地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含みます。以下同じ。）に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	社債	信託約款において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	その他債券	信託約款において、公債または社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	クレジット属性	目論見書または信託約款において、信用力が高い債券に選別して投資する、あるいは投資適格債（ＢＢ格相当以上）を投資対象の範囲とする旨の記載があるものについて高格付債、ハイイールド債等（ＢＢ格相当以下）を主要投資対象とする旨の記載があるものについて低格付債を債券の属性として併記します。
	不動産投信	信託約款において、主として不動産投信に投資する旨の記載があるものをいいます。
	その他資産	信託約款において、主として株式、債券および不動産投信以外に投資する旨の記載があるものをいいます。
	資産複合	信託約款において、複数資産を投資対象とする旨の記載があるものをいいます。
決算頻度	年１回	信託約款において、年１回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年２回	信託約款において、年２回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年４回	信託約款において、年４回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年６回（隔月）	信託約款において、年６回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年12回（毎月）	信託約款において、年12回（毎月）決算する旨の記載があるものをいいます。
	日々	信託約款において、日々決算する旨の記載があるものをいいます。
	その他	上記属性にあてはまらない全てのものをいいます。
投資対象地域	グローバル	信託約款において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	日本	信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	北米	信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	欧州	信託約款において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	アジア	信託約款において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	オセアニア	信託約款において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	中南米	信託約款において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	アフリカ	信託約款において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	中近東（中東）	信託約款において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	エマージング	信託約款において、組入資産による投資収益がエマージング地域（新興成長国（地域））の資産（一部組み入れている場合等を除きます。）を源泉とする旨の記載があるものをいいます。

投資形態	ファミリーファンド	信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除きます。）を投資対象として投資するものをいいます。
	ファンド・オブ・ファンズ	一般社団法人投資信託協会が定める「投資信託等の運用に関する規則」第２条に規定するファンド・オブ・ファンズをいいます。
為替ヘッジ	あり	信託約款において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいいます。
	なし	信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいいます。
対象インデックス	日経２２５	信託約款において、日経２２５に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
	ＴＯＰＩＸ	信託約款において、ＴＯＰＩＸに連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
	その他	信託約款において、上記以外の指数に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
特殊型	ブル・ベア型	信託約款において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行うとともに各種指数・資産等への連動もしくは逆連動（一定倍の連動もしくは逆連動を含みます。）を目指す旨の記載があるものをいいます。
	条件付運用型	信託約款において、仕組債への投資またはその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果（基準価額、償還価額、収益分配金等）や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるものをいいます。
	ロング・ショート型／絶対収益追求型	信託約款において、ロング・ショート戦略により収益の追求を目指す旨もしくは特定の市場に左右されにくい収益の追求を目指す旨の記載があるものをいいます。
	その他	信託約款において、上記特殊型に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいいます。

上記定義は一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」を基に委託会社が作成したものです。

〔ファンドの目的・特色〕

ファンドの目的

日本を含む世界の株式を実質的な主要投資対象とし、主として値上がり益の獲得をめざします。

ファンドの特色

特色

1

投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の株式に実質的な投資を行います。

- 投資対象とする投資信託証券については、定性・定量評価等により適宜見直しを行います。また、各投資信託証券の組入比率は適宜見直しを行います。なお、2023年11月3日現在、投資対象となっている投資信託証券は以下の通りです。

<TOPIXマザーファンド>

東京証券取引所に上場されている日本の株式への投資を行います。

- ・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
- ・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)をベンチマークとします。
- ・対象インデックスとの連動を維持するため、株式(株価指数先物取引等を含む)の実質投資比率は信託財産の純資産総額を超える場合があります。

<JPX日経400インデックスマザーファンド>

日本の金融商品取引所上場株式(上場予定株式を含みます。)への投資を行います。

- ・JPX日経インデックス400(配当込み)に連動する投資成果をめざして運用を行います。
- ・JPX日経インデックス400(配当込み)をベンチマークとします。
- ・対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。

<日本株インカム・マザーファンド>

日本の株式への投資を行います。

- ・主としてTOPIX構成銘柄に投資しますが、TOPIX構成銘柄以外の上場株式等に投資する場合があります。
- ・主として、予想配当利回りが市場平均と比較して高いと判断される銘柄に投資し、「高水準の配当収入」と「中長期的な株価の値上がり益」の獲得をめざして運用を行います。

<JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド>

日本の金融商品取引所上場株式(上場予定株式を含みます。)への投資を行います。

- ・iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス(配当込み)に連動する投資成果をめざして運用を行います。
- ・iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス(配当込み)をベンチマークとします。
- ・対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。

<日本株オープン「35」マザーファンド>

日本の株式を主要投資対象とし、「企業の成長性」に着目して厳選した「35銘柄」に主に投資します。

- ・「35銘柄」とは、中長期的な事業の収益性・成長性が見込まれ、かつ十分な投資成果が期待できると判断し選別した銘柄群です。
- ・「35銘柄」に絞り込んで投資することで、全産業に投資するよりも高いパフォーマンスをめざします。また、より綿密な情報分析と継続フォローの徹底を図ります。

<日本・小型株・ファンド・マザーファンド>

日本の小型株式の中から、「成長性が高いと判断される銘柄」を綿密な企業調査により厳選して投資します。

- ・原則、東京証券取引所のグロース市場上場株式、スタンダード市場上場株式およびプライム市場上場株式を中心に投資します。
- ・目標株価への到達もしくは接近、ファンダメンタルズの変化、新規投資候補銘柄との相対比較等を勘案し、組入銘柄は適宜入れ替えます。
- ・RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスをベンチマークとします。

<日本株式最小分散インデックスマザーファンド>

日本の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。

- ・MSCI日本株最小分散指数(配当込み)に連動する投資成果をめざして運用を行います。
- ・MSCI日本株最小分散指数(配当込み)をベンチマークとします。
- ・対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。

<ジャパン・アクティブ・マザーファンド>

日本の株式を主要投資対象とします。

- ・日本の株式の中から、「資産・利益等と比較して株価が割安と判断され、かつ、優れたマネジメント力で継続的な利益成長や企業再生・復活が期待できる銘柄」を厳選し投資します。
- ・東証株価指数(TOPIX)をベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。

<日本株ESGアクティブマザーファンド>

日本の株式を主要投資対象とします。

- ・株式への投資にあたっては、ESGの取り組みの改善が見込まれる企業の中から、企業収益の成長性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。
- ・株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。

<ジャパンESGセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド>

日本の金融商品取引所上場株式(上場予定株式を含みます。)を主要投資対象とします。

- ・MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数(配当込み)に連動する投資成果をめざして運用を行います。
- ・MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数(配当込み)をベンチマークとします。
- ・対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。

<クオリティ企業厳選投資日本株マザーファンド(ESG)>

日本の株式を主要投資対象とします。

- ・株式への投資にあたっては、ESGへの取り組みに対する評価が高いと委託者が判断した企業の中から、ビジネスのクオリティが高い企業の株式を厳選し、投資を行います。
- ・株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。

 ベンチマークとは、ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標です。

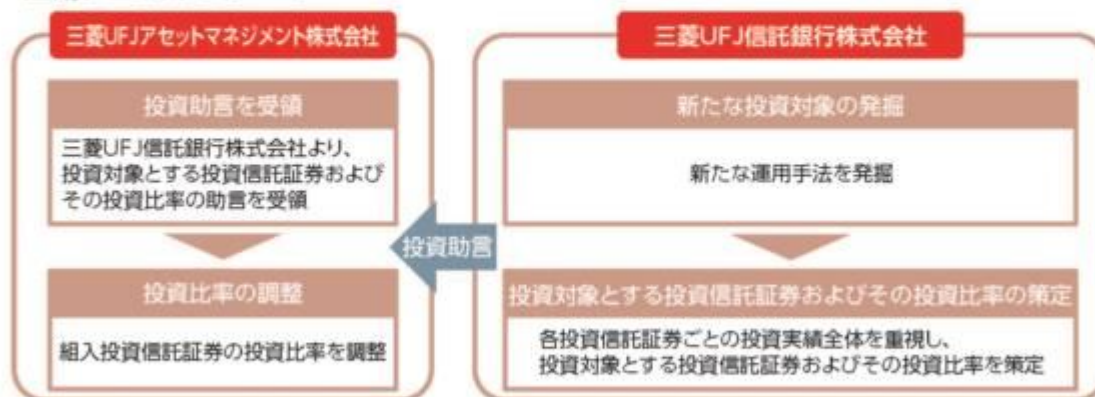


三菱UFJ信託銀行からの投資助言に基づき運用を行います。

- 投資対象とする投資信託証券およびその投資比率は、三菱UFJ信託銀行の投資助言に基づき決定します。

- ① 投資対象とする投資信託証券およびその投資比率は、投資環境の変化等に応じて適宜変更します。
- ② 投資助言者、投資助言の内容、投資助言の有無等については、変更する場合があります。

＜運用プロセスのイメージ＞



- ① 上記の運用プロセスは変更される場合があります。また、市場環境等によっては上記のような運用ができない場合があります。

📄 「運用担当者に係る事項」については、委託会社のホームページでご覧いただけます。
(<https://www.am.mufg.jp/corp/operation/fm.html>)

特色3

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替ヘッジにより、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

為替ヘッジの活用

為替予約取引を活用し為替ヘッジを行うことにより、為替ヘッジをしなかった場合と比較して安定した値動きが期待されます。ただし、為替ヘッジにより、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行うにあたっては、対象通貨間の金利差に基づくヘッジコストがかかります。

❗ 為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

＜投資リターンのイメージ図＞



❗ 上記は為替ヘッジを理解して頂くためのイメージ図であり、ファンドの将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。

特色4

年1回の決算時(2月5日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

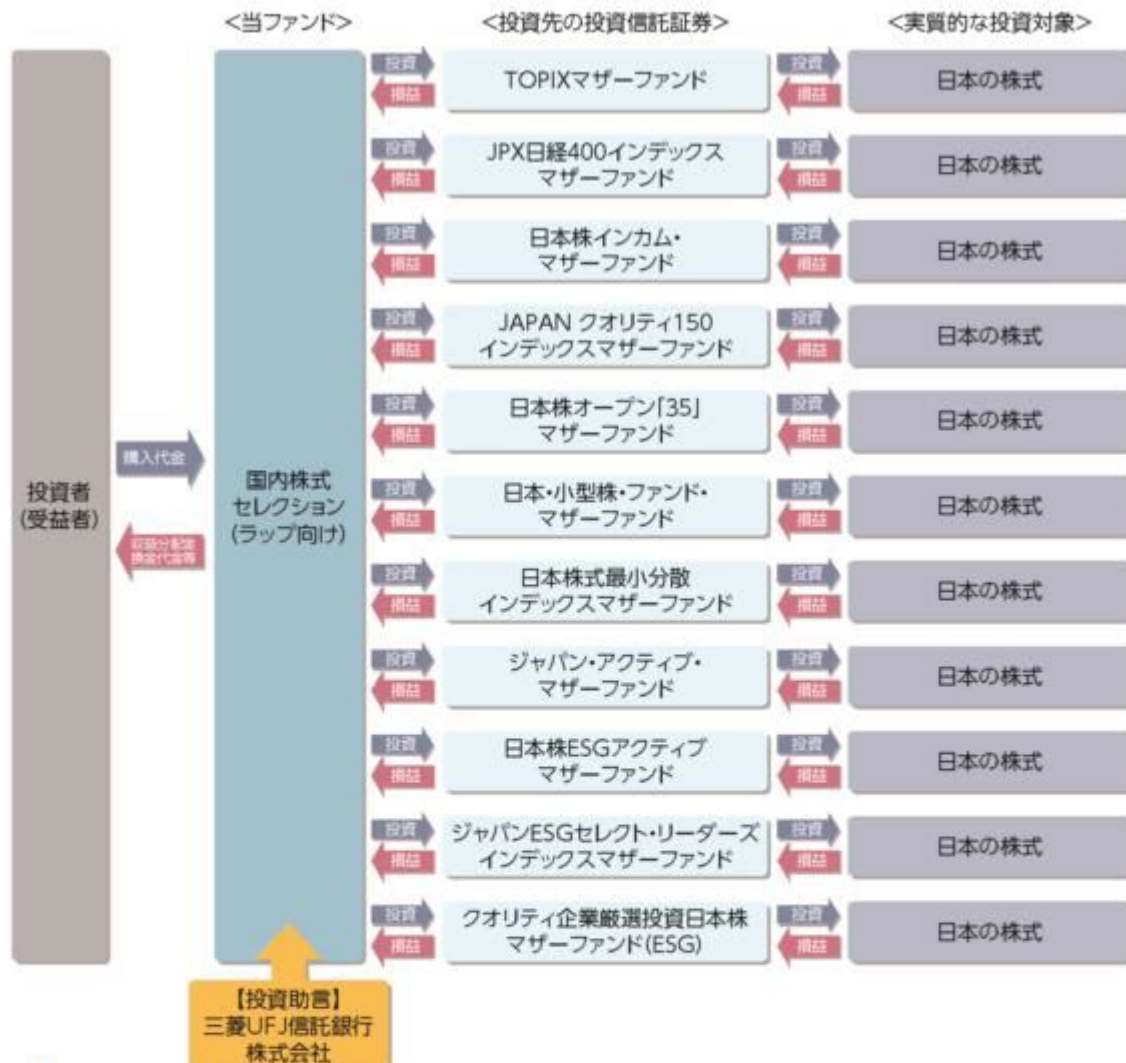
- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

■ファンドの仕組み

ファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。



❗ 投資対象とする投資信託証券およびその投資比率は、三菱UFJ信託銀行の投資助言に基づき決定します。

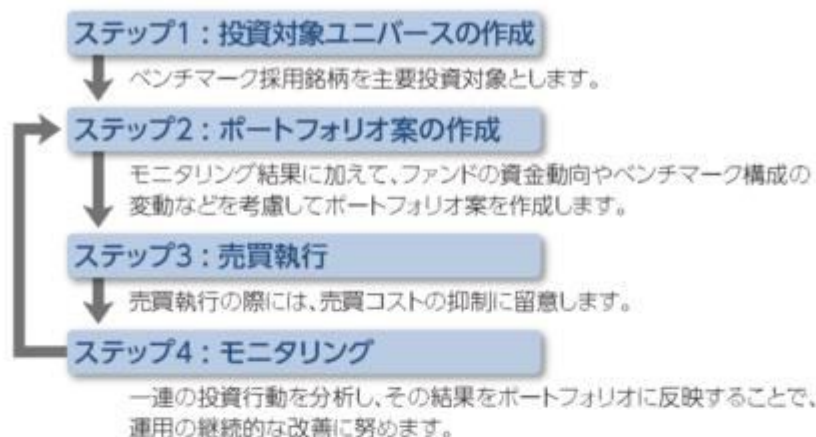
❗ 上記の投資対象とする投資信託証券は、今後変更される場合があります。

■主な投資制限

株式	株式への直接投資は行いません。
投資信託証券	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。
外貨建資産	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

■各投資信託証券の運用プロセス

<TOPIXマザーファンド／JPX日経400インデックスマザーファンド／JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド／日本株式最小分散インデックスマザーファンド／ジャパンESGセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド>



1 上記の運用プロセスは変更される場合があります。また、市場環境等によっては上記のような運用ができない場合があります。

「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」について

■MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数の構築プロセス



- 半期レビュー(毎年5・11月末)において、親指数の各業種における時価総額の50%を目標に一定の条件に従って銘柄を選定。
- 四半期レビュー(毎年2・8月末)において、継続組入条件を満たしていない既存構成銘柄を除外した上で、各業種分類時価総額の45%未満となる場合、一定の条件に従って50%の目標に達するまで新規採用。

※MSCIジャパンIMI指数とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、わが国の金融商品取引所に上場する大型・中型・小型銘柄で構成されています。

■ESG適格基準

	内容	新規 組入基準	継続 組入基準
MSCI ESG 格付け	- ESGに関するリスクと機会への対応力を調査・分析 - 各企業に係る主要な問題への対応力を同業他社と比較 - AAA～CCCの7段階で評価(BBIは最上位から5番目、BIは6番目)	BB以上	B以上
不祥事 スコア	各企業の事業、製品やサービスがESGにネガティブな影響を与え得る不祥事の深刻度やその解決のための対策を0～10で評価(0が最低評価)	3以上	1以上

■MSCI ESG格付けの評価項目(ご参考)

●環境(Environment)

地球温暖化 二酸化炭素排出、 環境配慮融資など	自然資源 水資源枯渇、 生物多様性と土地利用など	廃棄物管理 有害物質と廃棄物管理、 包装材廃棄物など	環境市場機会 グリーンテクノロジー、 再生可能エネルギーなど
-------------------------------	--------------------------------	----------------------------------	--------------------------------------

●社会(Social)

人的資源 労働マネジメント、 労働安全衛生など	製品サービスの安全 製品安全・品質、 製品化学物質安全など	ステークホルダーマネジメント 透明性のある物資調達、 コミュニティ関係	社会市場機会 金融へのアクセス、 ヘルスケアへのアクセスなど
-------------------------------	-------------------------------------	---	--------------------------------------

●ガバナンス(Governance)

コーポレートガバナンス 取締役会構成、 報酬など	企業行動 企業倫理、 租税回避など
--------------------------------	-------------------------

※産業により重要とされる項目が異なるため、全ての項目で評価するものではありません。

※ESG適格基準やMSCI ESG格付けの評価項目は、今後変更される可能性があります。

※MSCI Inc.の資料を基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

<日本株インカム・マザーファンド>

- ポートフォリオの構築にあたっては、銘柄分散を意識し、適宜組入銘柄の入替を行います。
- 株式の組入比率は原則として高位を維持します。
- 予想配当利回りとは、一株当たりの予想配当金(年間)を株価で割って求められる指標です。
- 予想配当利回りの市場平均とは、時価総額考慮後のTOPIX構成銘柄の平均予想配当利回りです。



<組入銘柄選定プロセスについて>



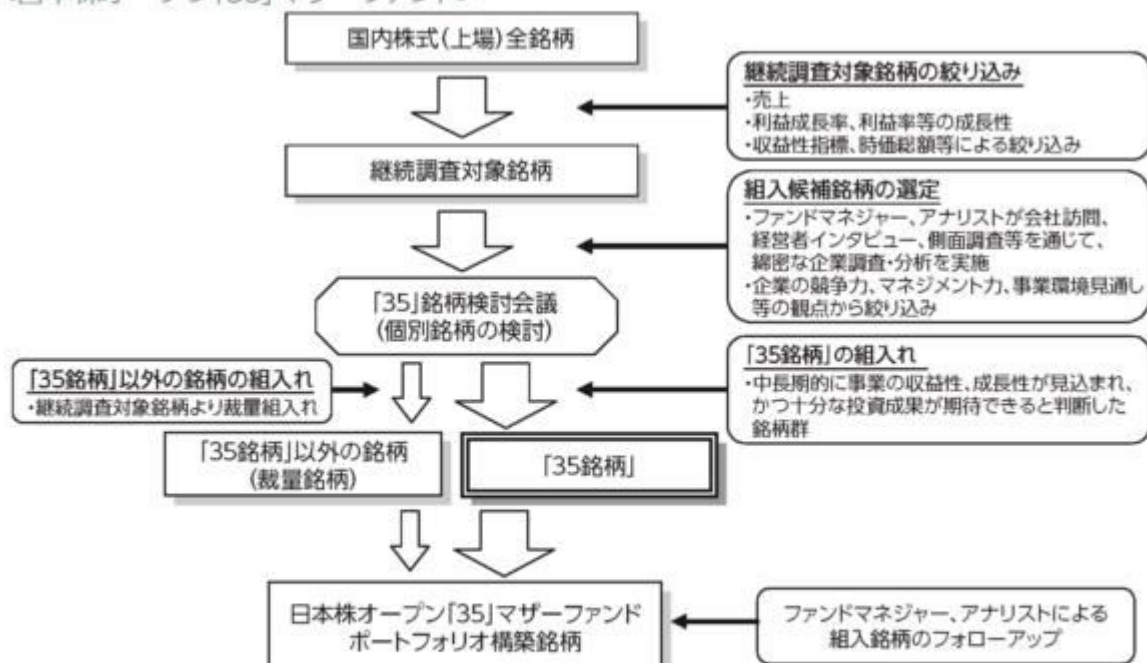
❗ 上記は銘柄選定の視点を示したものであり、実際にファンドで投資する銘柄が常に上記の条件を満たすわけではありません。また、こうした企業が必ず利益成長を達成し、株価が上昇するわけではなく、環境によっては業績が悪化し、株価が下落することがある点にご留意ください。

❗ 上記の運用プロセスは変更される場合があります。また、市場環境等によっては上記のような運用ができない場合があります。

◆ PBR、PERは株価がどの程度の水準にあるかを評価する指標です。

- PBR(株価純資産倍率)……PBRとは、Price Book-value Ratioの略で、株価を1株当たり純資産で割って求められる指標です。この数値が低いほど企業の資産価値と比較して株価は割安だと評価されます。
- PER(株価収益率)……PERとは、Price Earnings Ratioの略で、株価を1株当たり利益で割って求められる指標です。この数値が低いほど収益性と比較して株価は割安だと評価されます。

<日本株オープン「35」マザーファンド>



❗ 上記は銘柄選定の視点を示したものであり、実際にファンドで投資する銘柄が常に上記の条件を満たすわけではありません。また、こうした企業が必ず利益成長を達成し、株価が上昇するわけではなく、環境によっては業績が悪化し、株価が下落することがある点にご留意ください。

＜日本・小型株・ファンド・マザーファンド＞

ファンドの主な銘柄選定基準

I. 成長性の高い小型株式



中長期的に高い成長が期待できる小型株式に注目します。

II. 綿密な企業調査により厳選



株価に影響を与える「企業情報」は、常に公平に株価に反映するとは限りません。綿密な企業調査により、将来的価値が株価に反映されていない銘柄の発掘に努めます。

！ 上記は銘柄選定の視点を示したものであり、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

＜ジャパン・アクティブ・マザーファンド＞

銘柄選定プロセス

STEP 1

利益成長のためのポテンシャルである豊富なキャッシュフローを持つ割安企業を選別

・グループ企業も含めた総合的な収益力(低PER、低PCFRなど) ・時価で評価した保有資産の価値(低PBRなど)

STEP 2

豊富なキャッシュフローを活用し、優れたマネジメント力を発揮する企業を選別

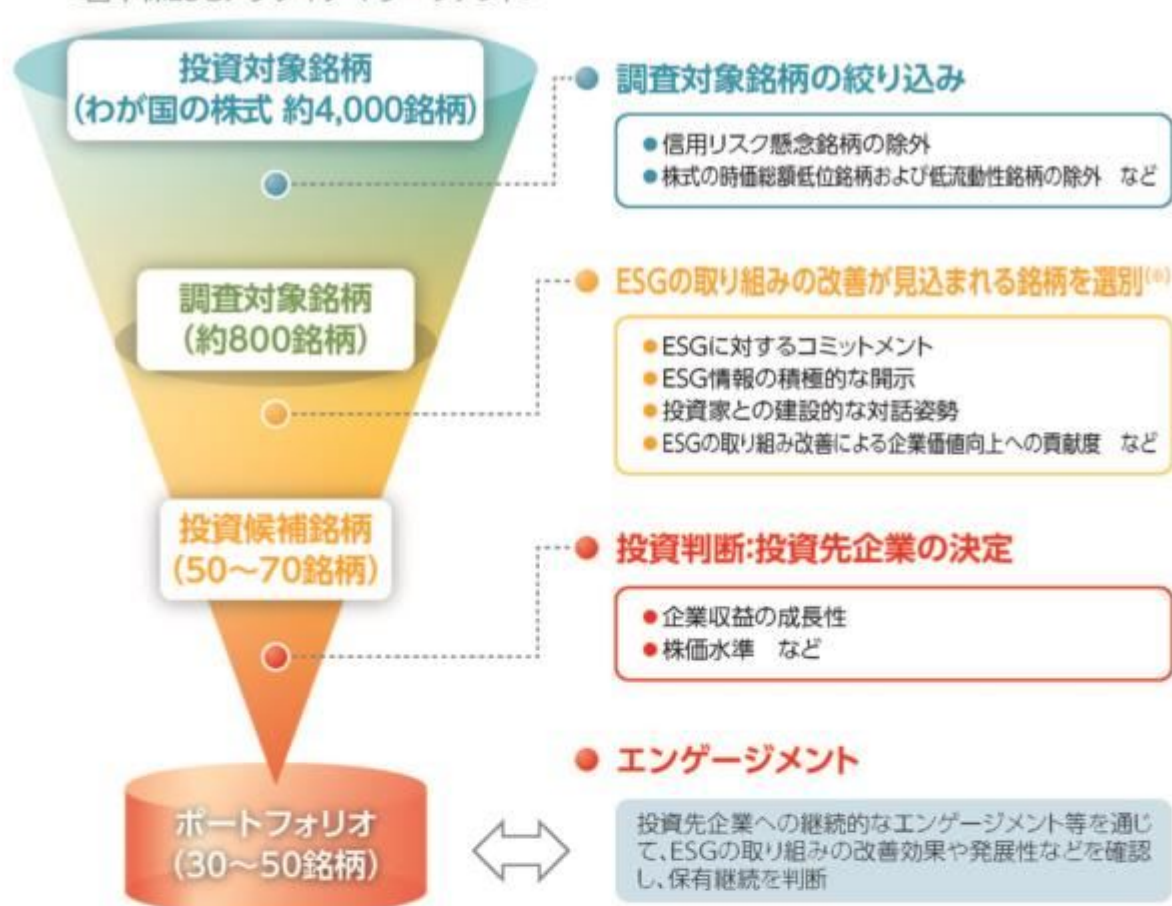
・資産・事業売却 ～リストラクチャリングなどの原資に
・事業交換 ～経営資源の「選択と集中」
・企業買収・合併 …など ～スケールメリット、残存者メリットの追求 …など

STEP 3

ポートフォリオ組入銘柄の決定

！ 上記は銘柄選定の視点を示したものであり、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

<日本株ESGアクティブマザーファンド>



※ESGの取り組みの改善が見込まれる銘柄にのみ投資を行います。

❗ 上記は銘柄選定の視点を示したものであり、すべてを網羅するものではありません。また、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。上記プロセスは、今後変更されることがあります。

📄 委託会社に関する「運用担当者に係る事項」については、委託会社のホームページでご覧いただけます。
(<https://www.am.mufj.jp/corp/operation/fm.html>)

■ ESGの取り組み改善に関する主な着目点

① ESGに対するコミットメント

- ステークホルダー[※]と利害が一致する適切な取締役報酬制度への変更
- ESGの取り組み推進に適した取締役会構成の実現 など

② ESG情報の積極的な開示

- 自社の中長期的な企業価値向上に直結するESG情報の開示の有無
- ESG目標に対する進捗を確認できる透明性のある開示 など

③ 投資家との建設的な対話姿勢

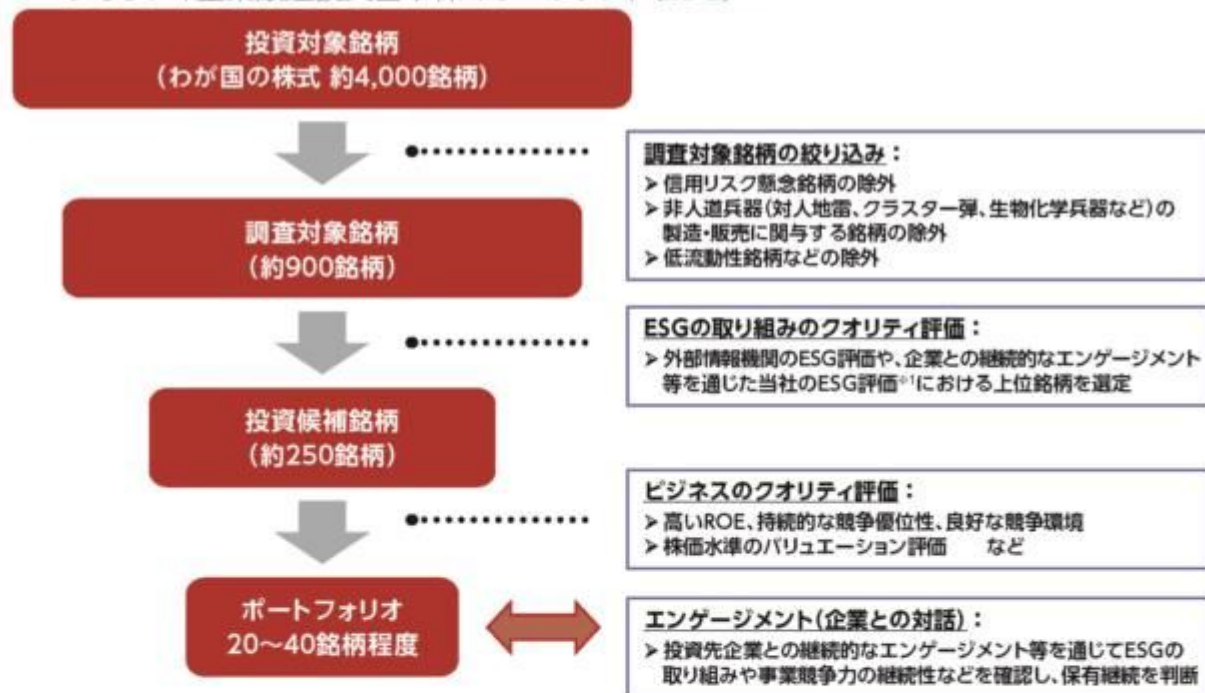
- 企業価値向上に向けた投資家の提案等の受け入れ
- 取締役等の積極的な対話参画状況 など

④ ESGの取り組みによる企業価値向上への貢献度

- 企業価値を損ねているESGの課題を解決する取り組みであるか
- 株式市場の評価を更に伸ばすESGの取り組みであるか など

※企業の経営活動の存続や発展に対して、利害関係を有するもの。株主・債権者・従業員・顧客など、企業を取り巻くあらゆる利害関係者をさします。

<クオリティ企業厳選投資日本株マザーファンド(ESG)>



※1 当社のESG評価とは

当社では、「気候変動」「ガバナンス体制」「情報開示」「健康と安全」「人権・ダイバーシティ」を重大なESG課題として定めているほか、個別企業ごとのマテリアリティ(重要課題)にも注意を払いながら対話テーマを設定しています。企業との対話等を通じて以下の項目について企業の取り組みを評価しています。

- 投資家との対話姿勢
- マネジメントのESGコミットメント
- ESGに関する情報開示姿勢
- マテリアリティの選定とリスク・機会の分析
- 事業戦略にESGを組み込んだビジネスモデルの企業価値向上への寄与度
- ESGの取り組み全般に対する今後の変化の見通し など

■ ROE(自己資本利益率)とは、Return on Equityの略で、1株当たり当期純利益を1株当たり自己資本で割って算出されます。この数値が高いほど企業の収益力は高いと評価されます。

❗ 上記はポートフォリオ構築の概略を示したものであり、すべてを網羅するものではありません。また、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。上記プロセスは、今後変更されることがあります。

■日本株ESGアクティブマザーファンド、ジャパンESGセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド、クオリティ企業厳選投資日本株マザーファンド(ESG)のステewardシップ方針

委託会社はお客さまから委託された資産の運用を行う立場として、投資先企業が株主利益を考慮して企業価値の向上や持続的な成長を果たすことに資するため、気候変動や人権・ダイバーシティ、ガバナンス体制などの投資先企業におけるESG課題を重視し、企業との「目的を持った対話」や明確な方針のもとでの議決権行使などのステewardシップ活動を実施します。

（ご参考）

委託会社のステewardシップ活動

<https://www.am.mufg.jp/corp/responsible/stewardshipcode.html>



指数について

・東証株価指数(TOPIX) (配当込み)とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

・JPX日経インデックス400(配当込み)とは、東京証券取引所のプライム市場、スタンダード市場、グロース市場を主市場とする普通株式等のうち、時価総額、売買代金、ROE等を基に、株式会社JPX総研及び株式会社日本経済新聞社が選定した、原則400銘柄で構成される株価指数です。「JPX日経インデックス400(配当込み)」(以下「JPX日経インデックス400」といいます。)は、株式会社JPX総研(以下「JPX総研」といいます。)及び株式会社日本経済新聞社(以下「日経」といいます。)によって独自に開発された手法によって算出される著作物であり、JPX総研及び日経は、「JPX日経インデックス400」自体及び「JPX日経インデックス400」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。JPX総研及び日経は、「JPX日経インデックス400」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延又は中断に関して、責任を負いません。ファンドは、委託会社の責任のもとで運用されるものであり、JPX総研及び日経は、その運用及びファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。

・ISTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス(配当込み)とは、東京証券取引所を主たる市場とする普通株式等の中から時価総額、流動性によりスクリーニングされる投資ユニバースのうち、高ROEかつ、①財務健全性、②キャッシュフロー収益性、③利益安定性の3点に着目し、高ROEの継続性を評価して150銘柄を選定し算出される株価指数です。ISTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス(配当込み)は、三菱UFJ信託銀行が有するアクティブ運用機関としてのノウハウとISTOXXリミテッド(以下「ISTOXX社」)が有する指数提供機関としての経験を活用し、両社で共同開発したものです。2001年6月18日の時価総額を100として、ISTOXX社が算出・公表しています。

・RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスは、RUSSELL/NOMURA 日本株インデックスを構成するインデックスの一つです。RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスは、わが国の全金融商品取引所全上場銘柄の全時価総額(時価総額は全て安定持株控除後)の98%超をカバーするRUSSELL/NOMURA Total Marketインデックスのうち、時価総額下位約15%の銘柄により構成されています。

RUSSELL/NOMURA 日本株インデックスは、Frank Russell Companyと野村フィデューシャリー・リサーチ・コンサルティング株式会社が作成している株価指数で、当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は両社に帰属します。なお、両社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

・MSCI日本株最小分散指数(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、J-REITを除いた日本株式を対象に、ボラティリティ(価格変動率)が最も小さくなるように各銘柄の構成比率を決定し算出した指数です。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

・MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、業種内において相対的にESG(環境、社会、ガバナンス)評価が優れた企業で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

(3)【ファンドの仕組み】

<訂正前>

委託会社およびファンドの関係法人の役割

投資家（受益者）

お申込金 ↓ ↑ 収益分配金、解約代金等

販売会社

募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱い等を行います。

お申込金↓↑収益分配金、解約代金等

受託会社（受託者） 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 （再信託受託会社：日本マスタートラスト 信託銀行株式会社）	委託会社（委託者） 三菱ＵＦＪ国際投信株式会社
信託財産の保管・管理等を行います。	信託財産の運用の指図、受益権の発行等を行います。
投資↓↑損益	
投資対象ファンド	
投資↓↑損益	
有価証券等	

<訂正後>

委託会社およびファンドの関係法人の役割

投資家（受益者）	
お申込金↓↑収益分配金、解約代金等	
販売会社	募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱い等を行います。
お申込金↓↑収益分配金、解約代金等	
受託会社（受託者） 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 （再信託受託会社：日本マスタートラスト 信託銀行株式会社）	委託会社（委託者） 三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社
信託財産の保管・管理等を行います。	信託財産の運用の指図、受益権の発行等を行います。
投資↓↑損益	
投資対象ファンド	
投資↓↑損益	
有価証券等	

<訂正前>

委託会社と関係法人との契約の概要

	概要
委託会社と受託会社との契約 「信託契約」	運用に関する事項、委託会社および受託会社としての業務に関する事項、受益者に関する事項等が定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容で締結されます。
委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱いに関する契約」	販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容等が定められています。

委託会社の概況（2023年2月末現在）

・金融商品取引業者登録番号

- 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
- ・ 設立年月日
1985年8月1日
 - ・ 資本金
2,000百万円
 - ・ 沿革
1997年5月 東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始
2004年10月 東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更
2005年10月 三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱ＵＦＪ投信株式会社に変更
2015年7月 三菱ＵＦＪ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱ＵＦＪ国際投信株式会社に変更
 - ・ 大株主の状況

株 主 名	住 所	所有株式数	所有比率
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目４番５号	211,581株	100.0%

< 訂正後 >

委託会社と関係法人との契約の概要

	概要
委託会社と受託会社との契約 「信託契約」	運用に関する事項、委託会社および受託会社としての業務に関する事項、受益者に関する事項等が定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容で締結されます。
委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱いに関する契約」	販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容等が定められています。

委託会社の概況（2023年10月1日現在）

- ・ 金融商品取引業者登録番号
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
- ・ 設立年月日
1985年8月1日
- ・ 資本金
2,000百万円
- ・ 沿革
1997年5月 東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始
2004年10月 東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更
2005年10月 三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱ＵＦＪ投信株式会社に変更
2015年7月 三菱ＵＦＪ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱ＵＦＪ国際投信株式会社に変更
2023年10月 エム・ユー投資顧問株式会社の有価証券運用事業を三菱ＵＦＪ国際投信株式会社へ統合し、商号を三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社に変更

・ 大株主の状況

株 主 名	住 所	所有株式数	所有比率
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目４番５号	211,581株	100.0%

2【投資方針】

（２）【投資対象】

<更新後>

投資の対象とする資産の種類

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

- 1．次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．約束手形

ハ．金銭債権

- 2．次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

有価証券の指図範囲

この信託において投資の対象とする有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）は、別に定める投資信託証券（投資信託および外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。））ならびに投資証券および外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）をいいます。以下同じ。）のほか、次に掲げるものとします。

- 1．国債証券、地方債証券、特別の法律により法人の発行する債券および社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券を除きます。）
- 2．コマーシャル・ペーパー
- 3．外国または外国の者の発行する証券または証書で、2．の証券の性質を有するもの
- 4．指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

なお、1．の証券を以下「公社債」といい、公社債に係る運用の指図は短期社債等への投資ならびに買い現先取引（売戻条件付の買入れ）および債券貸借取引（現金担保付債券借入れ）に限り行うことができます。

金融商品の指図範囲

この信託において投資の対象とする金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）は、次に掲げるものとします。

- 1．預金
- 2．指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託を除きます。）
- 3．コール・ローン
- 4．手形割引市場において売買される手形

その他の投資対象

信託約款に定める次に掲げるもの。

- ・外国為替予約取引

<投資信託証券の概要>

■投資対象とする投資信託証券の概要(2023年11月3日現在)

ファンド名	TOPIXマザーファンド
形態	証券投資信託
投資態度	・主として対象インデックスに採用されている株式に投資を行い、信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を対象インデックスの変動率に一致させることを目的とした運用を行います。 ・対象インデックスからカイ離するリスクと運用コストの極小化を目的として、定量的なリスク管理に基づいたポートフォリオ構築と適切な売買執行を行います。 ・株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、対象インデックスとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。 ・なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主な投資対象	東京証券取引所に上場されている株式
主な投資制限	・株式への投資割合に制限を設けません。 ・新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資は行いません。 ・有価証券先物取引等を行うことができます。 ・スワップ取引を行うことができます。 ・デリバティブ取引(法人税法第61条の5に定めるものをいいます。)は、価格変動リスクおよび金利変動リスクを回避する目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。
運用管理費用(信託報酬)	ありません。
その他の費用・手数料	売買委託手数料、監査費用、資産の保管等に要する費用等がかかる場合があります。
購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資運用会社	三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社
設定日	2001年3月26日
決算日	原則として毎年3月25日
分配方針	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

ファンド名	JPX日経400インデックスマザーファンド
形態	証券投資信託
投資態度	・主として対象インデックスに採用されている株式に投資を行い、信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を対象インデックスの変動率に一致させることを目的とした運用を行います。 ・株式の組入比率は原則として高位を保ちます。 ・対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。 ・株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。 ・市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主な投資対象	わが国の金融商品取引所上場株式(上場予定株式を含みます。)
主な投資制限	・株式への投資割合に制限を設けません。 ・新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・有価証券先物取引等を行うことができます。 ・スワップ取引を行うことができます。 ・外国為替予約取引を行うことができます。 ・デリバティブ取引(法人税法第61条の5に定めるものをいいます。)は、価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。 ・外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。
運用管理費用 (信託報酬)	ありません。
その他の費用・手数料	売買委託手数料、監査費用、資産の保管等に要する費用等がかかる場合があります。
購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資運用会社	三菱UFJアセットマネジメント株式会社
設定日	2014年4月1日
決算日	原則として毎年1月26日
分配方針	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

ファンド名	日本株インカム・マザーファンド
形態	証券投資信託
投資態度	・主としてTOPIX構成銘柄の中から、予想配当利回りが市場平均と比較して高いと判断される銘柄に投資し、高水準の配当収入と中長期的な株価値上がり益の獲得をめざして運用を行います。なお、TOPIX構成銘柄以外の上場株式等に投資する場合があります。 ・銘柄選定にあたっては、予想配当利回りが原則として市場平均以上の銘柄から流動性等を勘案して調査対象銘柄を選定し、その中から財務の健全性や配当の実現性等を勘案して組入候補銘柄を決定します。 ・ポートフォリオの構築にあたっては、銘柄分散を意識し、適宜組入銘柄の入れ替えを行います。 ・原則として株式の組入比率は高位を維持します。 ・株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。 ・なお、市場動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主な投資対象	わが国の株式
主な投資制限	・株式への投資割合に制限を設けません。 ・新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資は行いません。 ・有価証券先物取引等は価格変動リスクを回避するため行うことができます。 ・スワップ取引は効率的な運用に資するためならびに価格変動リスクを回避するため行うことができます。
運用管理費用 (信託報酬)	ありません。
その他の費用・手数料	売買委託手数料、監査費用、資産の保管等に要する費用等がかかる場合があります。
購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	0.3%
投資運用会社	三菱UFJアセットマネジメント株式会社
設定日	2005年7月15日
決算日	原則として毎年2月3日、8月3日
分配方針	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

ファンド名	JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド
形態	証券投資信託
投資態度	・主としてわが国の金融商品取引所上場株式(上場予定株式を含みます。)に投資を行い、ISTOXX MUT B JAPAN クオリティ150インデックス(配当込み)に連動する投資成果をめざして運用を行います。 ・株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。 ・対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。 ・株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。 ・市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主な投資対象	わが国の金融商品取引所上場株式(上場予定株式を含みます。)
主な投資制限	・株式への投資割合に制限を設けません。 ・新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・有価証券先物取引等を行うことができます。 ・スワップ取引は効率的な運用に資するため行うことができます。 ・外国為替予約取引は効率的な運用に資するため行うことができます。 ・デリバティブ取引(法人税法第61条の5に定めるものをいいます。)は、価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを減じる目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。
運用管理費用 (信託報酬)	ありません。
その他の費用・手数料	売買委託手数料、監査費用、資産の保管等に要する費用等がかかる場合があります。
購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資運用会社	三菱UFJアセットマネジメント株式会社
設定日	2015年11月6日
決算日	原則として毎年1月26日
分配方針	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

ファンド名	日本株オープン「35」マザーファンド
形態	証券投資信託
投資態度	・国内の上場株式、店頭登録株式を主たる投資対象とし、個別企業訪問等によるボトム・アップ・アプローチをベースとしたアクティブ運用を行います。 ・東証株価指数(TOPIX)をベンチマークとし、これを上回る投資成果をめざします。 ・ファンドマネジャーが自ら企業訪問・調査・分析を行うことにより、企業の成長性とそのリスク、経営理念とその浸透度等を直接判断します。 ・現物株を中心に投資します。 ・主として、委託者が厳選した「35銘柄」に投資します。投資対象を「35銘柄」に絞ることで、銘柄のフォローを徹底し、集中投資効果を図ります。 ・「35銘柄」とは、委託者が独自の調査・分析等に基づき、投資判断・決定を行うなかで中長期的に事業の収益性・成長性が見込まれ、かつ十分な投資成果が期待できると判断した銘柄群をいいます。投資妙味のある銘柄を新規に発掘した場合、既存銘柄との比較を行い入替えの是非を検討します。 ・市場動向等によっては、限定された範囲内で、委託者が継続的にフォローしている銘柄群に投資することがあります。 ・株式組入比率は原則100%に近い水準を維持します。ただし、市場動向等により弾力的に変更を行う場合があります。 ・なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主な投資対象	わが国の株式
主な投資制限	・株式への投資割合に制限を設けません。 ・新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・有価証券先物取引等を行うことができます。 ・スワップ取引は効率的な運用に資するため行うことができます。 ・金利先渡取引および為替先渡取引は効率的な運用に資するため行うことができます。 ・外国為替予約取引は効率的な運用に資するため行うことができます。 ・デリバティブ取引(法人税法第61条の5に定めるものをいいます。)は、価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを減じる目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。
運用管理費用(信託報酬)	ありません。
その他の費用・手数料	売買委託手数料、監査費用、資産の保管等に要する費用等がかかる場合があります。
購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資運用会社	三菱UFJアセットマネジメント株式会社
設定日	2001年10月5日
決算日	原則として毎年3月23日
分配方針	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

ファンド名	日本・小型株・ファンド・マザーファンド
形態	証券投資信託
投資態度	・主としてわが国の小型株式の中から、ボトムアップアプローチにより成長性が高いと判断される銘柄を厳選して投資することを基本とします。 ・※小型株式の分類は「RUSSELL/NOMURA 日本株インデックス」の分類に準ずるものとします。 ・RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスをベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。 ・組入銘柄については、適宜見直しを行い、必要に応じ入替えを行います。 ・株式の組入比率は、原則として高位を維持します。 ・なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主な投資対象	わが国の株式(金融商品取引所上場および店頭登録株式)
主な投資制限	・株式への投資割合に制限を設けません。 ・新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資は行いません。 ・有価証券先物取引等は価格変動リスクを回避するため行うことができます。 ・スワップ取引は効率的な運用に資するためならびに価格変動リスクを回避するため行うことができます。
運用管理費用 (信託報酬)	ありません。
その他の費用・手数料	売買委託手数料、監査費用、資産の保管等に要する費用等がかかる場合があります。
購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資運用会社	三菱UFJアセットマネジメント株式会社
設定日	2000年3月31日
決算日	原則として毎年6月10日、12月10日
分配方針	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

ファンド名	日本株式最小分散インデックスマザーファンド
形態	証券投資信託
投資態度	・主としてわが国の金融商品取引所上場株式に投資を行います。 ・株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。 ・対象インデックスとの運動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。 ・株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。 ・市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主な投資対象	わが国の金融商品取引所上場株式
主な投資制限	・株式への投資割合に制限を設けません。 ・新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・有価証券先物取引等を行うことができます。 ・スワップ取引は効率的な運用に資するため行うことができます。 ・外国為替予約取引は効率的な運用に資するため行うことができます。 ・デリバティブ取引(法人税法第61条の5に定めるものをいいます。)は、価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを減じる目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。
運用管理費用 (信託報酬)	ありません。
その他の費用・手数料	売買委託手数料、監査費用、資産の保管等に要する費用等がかかる場合があります。
購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資運用会社	三菱UFJアセットマネジメント株式会社
設定日	2016年11月9日
決算日	原則として毎年10月29日
分配方針	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

ファンド名	ジャパン・アクティブ・マザーファンド
形態	証券投資信託
投資態度	・わが国の株式の中から、「資産・利益等と比較して株価が割安と判断され、かつ、優れたマネジメント力で継続的な利益成長や企業再生・復活が期待できる銘柄」を厳選し投資します。 ・東証株価指数(TOPIX)をベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。 ・株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。 ・なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主な投資対象	わが国の株式
主な投資制限	・株式への投資割合に制限を設けません。 ・新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資は行いません。 ・有価証券先物取引等は価格変動リスクを回避するため行うことができます。 ・スワップ取引は効率的な運用に資するためならびに価格変動リスクを回避するため行うことができます。
運用管理費用 (信託報酬)	ありません。
その他の費用・手数料	売買委託手数料、監査費用、資産の保管等に要する費用等がかかる場合があります。
購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資運用会社	三菱UFJアセットマネジメント株式会社
設定日	2003年2月28日
決算日	原則として毎年10月30日
分配方針	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

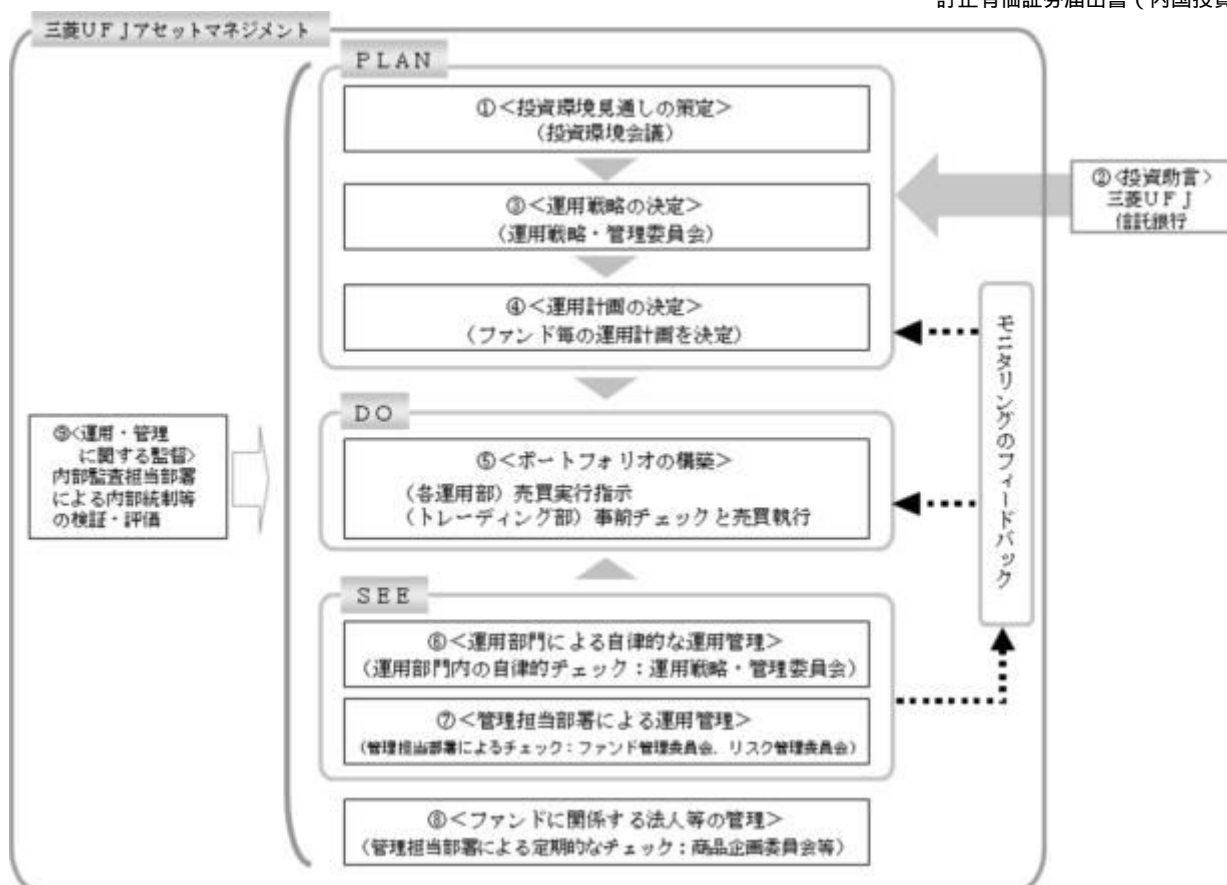
ファンド名	日本株ESGアクティブマザーファンド
形態	証券投資信託
投資態度	・主としてわが国の株式に投資を行います。 ・株式への投資にあたっては、ESGの取り組みの改善が見込まれる企業の中から、企業収益の成長性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。 ・株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。 ・株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。 ・市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主な投資対象	わが国の株式
主な投資制限	・株式への投資割合に制限を設けません。 ・新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・有価証券先物取引等は価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため行うことができます。 ・スワップ取引は価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため行うことができます。 ・外国為替予約取引は効率的な運用に資するため行うことができます。
運用管理費用 (信託報酬)	ありません。
その他の費用・手数料	売買委託手数料、監査費用、資産の保管等に要する費用等がかかる場合があります。
購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資運用会社	三菱UFJアセットマネジメント株式会社
設定日	2019年5月15日
決算日	原則として毎年5月25日、11月25日
分配方針	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

ファンド名	ジャパンESGセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド
形態	証券投資信託
投資態度	・主として対象インデックスに採用されているわが国の金融商品取引所上場株式(上場予定株式を含みます。)に投資を行い、信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を対象インデックスの変動率に一致させることを目的とした運用を行います。 ・株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。 ・対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。 ・株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。 ・市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主な投資対象	わが国の金融商品取引所上場株式(上場予定株式を含みます。)
主な投資制限	・株式への投資割合に制限を設けません。 ・新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・有価証券先物取引等を行うことができます。 ・スワップ取引を行うことができます。 ・外国為替予約取引を行うことができます。 ・デリバティブ取引(法人税法第61条の5に定めるものをいいます。)は、価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。 ・外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。
運用管理費用 (信託報酬)	ありません。
その他の費用・手数料	売買委託手数料、監査費用、資産の保管等に要する費用等がかかる場合があります。
購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資運用会社	三菱UFJアセットマネジメント株式会社
設定日	2018年10月22日
決算日	原則として毎年1月26日
分配方針	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

ファンド名	クオリティ企業厳選投資日本株マザーファンド(ESG)
形態	証券投資信託
投資態度	・主としてわが国の株式に投資を行います。 ・株式への投資にあたっては、ESGへの取組みに対する評価が高いと委託者が判断した企業の中から、ビジネスのクオリティが高い企業の株式を厳選し、投資を行います。 ・株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。 ・株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。 ・市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主な投資対象	わが国の株式
主な投資制限	・株式への投資割合に制限を設けません。 ・新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・有価証券先物取引等は価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため行うことができます。 ・スワップ取引は価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため行うことができます。 ・外国為替予約取引は効率的な運用に資するため行うことができます。
運用管理費用 (信託報酬)	ありません。
その他の費用・手数料	売買委託手数料、監査費用、資産の保管等に要する費用等がかかる場合があります。
購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資運用会社	三菱UFJアセットマネジメント株式会社
設定日	2021年3月31日
決算日	原則として毎年2月15日、8月15日
分配方針	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

(3) 【運用体制】

< 更新後 >



投資環境見通しの策定

投資環境会議において、国内外の経済・金融情報および各国証券市場等の調査・分析に基づいた投資環境見通しを策定します。

投資助言

当ファンドは、三菱ＵＦＪ信託銀行（「助言元」といいます。）から運用戦略または運用計画の立案に資する投資助言を受けています。

運用戦略の決定

運用戦略・管理委員会において、で策定された投資環境見通し、およびの投資助言に沿って運用戦略を決定します。

運用計画の決定

で決定された運用戦略に基づいて、各運用部はファンド毎の運用計画を決定します。

ポートフォリオの構築

各運用部の担当ファンドマネジャーは、運用部から独立したトレーディング部に売買実行の指示をします。トレーディング部は、事前のチェックを行ったうえで、最良執行をめざして売買の執行を行います。

運用部門による自律的な運用管理

運用部門は、投資行動がファンドコンセプトおよびファンド毎に定めた運用計画に沿っているかどうかの自律的なチェックを行い、運用部門内の管理担当部署は逸脱がある場合は速やかな是正を指示します。また、運用戦略・管理委員会を通じて運用状況のモニタリングを行い、運用部門内での自律的牽制により運用改善を図ります。

管理担当部署による運用管理

運用部から独立した管理担当部署（40～60名程度）は、（a）運用に関するパフォーマンス測定・分析、意図した運用成果が得られていない場合にはその原因の分析のほか、（b）リスク管理および法令・信託約款などの遵守状況等のモニタリングを実施します。この結果は、（a）についてはファンド管理委員会における審議を経て運用担当部・商品開発担当部にフィードバックされ、（b）についてはリスク管理委員会を通じて運用担当部にフィードバックされ、必要に応じて部署間連携の上で是正・改善の検討が行われます。

ファンドに係る法人等の管理

助言元、受託会社等、ファンドの運営に係る法人については、その業務に関する委託会社の管理担当部署が、体制、業務執行能力、信用力等のモニタリング・評価を実施します。この

結果は、商品企画委員会等を通じて委託会社の経営陣に報告され、必要に応じて是正が指示されます。

運用・管理に関する監督

内部監査担当部署（10名程度）は、運用、管理等に関する委託会社の業務全般についてその健全性・適切性を担保するために、リスク管理、内部統制、ガバナンス・プロセスの適切性・有効性を検証・評価します。その評価結果は問題点の改善方法の提言等も含めて委託会社の経営陣に報告される、内部監査態勢が構築されています。

ファンドの運用体制等は、今後変更される可能性があります。

なお、委託会社に関する「運用担当者に係る事項」については、委託会社のホームページでご覧いただけます。

「運用担当者に係る事項」 <https://www.am.mufg.jp/corp/operation/fm.html>

3【投資リスク】

<更新後>

(1) 投資リスク

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

（主なリスクであり、以下に限定されるものではありません。）

価格変動 リスク

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

為替変動 リスク

組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低いときには、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性 リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

留意事項

- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- ・有価証券の貸付等においては、取引先の倒産等による決済不履行リスクを伴い、当ファンドが損失を被る可能性があります。
- ・当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる

取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。

投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。当ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが見られなかった場合も同様です。

収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

（２）投資リスクに対する管理体制

委託会社では、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行い、ファンド管理委員会およびリスク管理委員会において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。

また、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策を策定し流動性リスクの評価と管理プロセスの検証などを行います。リスク管理委員会は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

具体的な、投資リスクに対するリスク管理体制は以下の通りです。

コンプライアンス担当部署

法令上の禁止行為、約款の投資制限等のモニタリングを通じ、法令等遵守のための管理態勢の状況を把握・管理し、必要に応じて改善の指導を行います。

リスク管理担当部署

運用リスク全般の状況をモニタリング・管理するとともに、運用実績の分析および評価を行い、必要に応じて改善策等を提言します。また、事務・情報資産・その他のリスクの統括的管理を行っています。

内部監査担当部署

委託会社のすべての業務から独立した立場より、リスク管理体制の適切性および有効性について評価を行い、改善策の提案等を通して、リスク管理機能の維持・向上をはかります。

* 組織変更等により、前記の名称および内容は変更となる場合があります。

■代表的な資産クラスとの騰落率の比較等

下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。



上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

代表的な資産クラスの指数について

資産クラス	指数名	注記等
日本株	東証株価指数(TOPIX) (配当込み)	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、日本の株式市場を広く網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み)	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI(国債)	NOMURA-BPI(国債)とは、野村フィデュシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI(総合)のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)	FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推薦、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

①海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

4【手数料等及び税金】

(5)【課税上の取扱い】

<訂正前>

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

個人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の譲渡益については、次の通り課税されます。

１．収益分配金の課税

普通分配金が配当所得として課税されます。元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、総合課税（配当控除は適用されません。）・申告分離課税を選択することもできます。

２．解約時および償還時の課税

解約価額および償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得とみなされて課税されます。

20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。

特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

解約時および償還時の損失（譲渡損）については、確定申告により収益分配金を含む上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。）との損益通算が可能となる仕組みがあります。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。なお、益金不算入制度の適用はありません。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（税込）は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを取得する場合等は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金について

受益者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

上記は2023年2月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

< 訂正後 >

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

個人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の譲渡益については、次の通り課税されます。

１．収益分配金の課税

普通分配金が配当所得として課税されます。元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、総合課税（配当控除は適用されません。）・申告分離課税を選択することもできます。

２．解約時および償還時の課税

解約価額および償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得とみなされて課税されます。

20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。

特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

解約時および償還時の損失（譲渡損）については、確定申告により収益分配金を含む上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。）との損益通算が可能となる仕組みがあります。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。なお、益金不算入制度の適用はありません。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（税込）は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを取得する場合等は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金について

受益者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

上記は2023年8月末現在のもので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

【国内株式セレクション（ラップ向け）】

（１）【投資状況】

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	35,493,394,719	97.49
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	912,176,364	2.51
純資産総額		36,405,571,083	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（２）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位 30 銘柄

2023年 8月31日現在

国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (％)
日本	親投資信託受益証券	ＴＯＰＩＸマザーファンド	4,432,639,190	2.3676	10,495,122,434	2.8000	12,411,389,732	34.09
日本	親投資信託受益証券	日本株インカム・マザーファンド	1,605,411,704	2.7156	4,359,656,024	3.3274	5,341,846,903	14.67
日本	親投資信託受益証券	クオリティ企業厳選投資日本株マザーファンド（ＥＳＧ）	3,802,527,439	1.0912	4,149,454,023	1.1210	4,262,633,259	11.71
日本	親投資信託受益証券	日本株式最小分散インデックスマザーファンド	2,001,985,887	1.4806	2,964,140,305	1.7619	3,527,298,934	9.69
日本	親投資信託受益証券	日本・小型株・ファンド・マザーファンド	285,820,323	8.2235	2,350,453,106	8.7430	2,498,927,083	6.86
日本	親投資信託受益証券	日本株ＥＳＧアクティブマザーファンド	862,761,317	1.7038	1,470,019,638	2.0601	1,777,374,589	4.88
日本	親投資信託受益証券	ジャパン・アクティブ・マザーファンド	339,280,492	4.3493	1,475,643,967	5.2315	1,774,945,893	4.88
日本	親投資信託受益証券	ジャパンＥＳＧセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド	878,264,419	1.3714	1,204,529,430	1.6149	1,418,309,210	3.90
日本	親投資信託受益証券	ＪＡＰＡＮ クオリティ１５０インデックスマザーファンド	744,123,823	1.6525	1,229,708,507	1.9028	1,415,918,810	3.89
日本	親投資信託受益証券	ＪＰＸ日経４００インデックスマザーファンド	448,826,163	1.9917	893,936,095	2.3723	1,064,750,306	2.92

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類／業種別投資比率

2023年 8月31日現在

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	97.49
合計	97.49

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（３）【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および2023年8月末日、同日前１年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 （１万口当たりの純資産価額）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間末日（2018年 2月 5日）	3,798,197,134	3,798,197,134	11,677	11,677
第2計算期間末日（2019年 2月 5日）	6,798,579,101	6,798,579,101	10,048	10,048
第3計算期間末日（2020年 2月 5日）	6,734,611,028	6,734,611,028	11,120	11,120
第4計算期間末日（2021年 2月 5日）	9,808,518,564	9,808,518,564	12,620	12,620
第5計算期間末日（2022年 2月 7日）	15,658,464,142	15,658,464,142	13,043	13,043
第6計算期間末日（2023年 2月 6日）	26,495,050,269	26,495,050,269	13,787	13,787
2022年 8月末日	22,946,471,626	—	13,560	—
9月末日	22,658,556,576	—	12,863	—
10月末日	24,200,367,916	—	13,479	—
11月末日	25,950,169,873	—	13,847	—
12月末日	25,353,467,625	—	13,232	—
2023年 1月末日	26,391,586,902	—	13,769	—
2月末日	26,874,049,423	—	13,896	—
3月末日	27,718,695,499	—	14,110	—
4月末日	28,795,707,513	—	14,443	—
5月末日	33,976,269,224	—	14,861	—
6月末日	36,438,452,334	—	15,915	—
7月末日	35,649,850,110	—	16,131	—
8月末日	36,405,571,083	—	16,196	—

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円
第2計算期間	0円
第3計算期間	0円
第4計算期間	0円
第5計算期間	0円
第6計算期間	0円

【収益率の推移】

	収益率（％）
第1計算期間	16.77
第2計算期間	13.95
第3計算期間	10.66
第4計算期間	13.48
第5計算期間	3.35
第6計算期間	5.70
第7中間計算期間	14.57

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	4,180,718,781	927,957,119	3,252,761,662
第2計算期間	4,337,352,686	824,150,797	6,765,963,551
第3計算期間	1,480,174,624	2,189,987,840	6,056,150,335
第4計算期間	5,016,855,517	3,300,953,963	7,772,051,889
第5計算期間	6,234,909,350	2,001,689,711	12,005,271,528
第6計算期間	9,958,697,693	2,746,978,257	19,216,990,964
第7中間計算期間	5,908,696,996	2,930,532,518	22,195,155,442

（参考）

ＴＯＰＩＸマザーファンド

投資状況

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株式	日本	1,114,411,083,780	99.28
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	8,065,068,824	0.72
純資産総額		1,122,476,152,604	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産の種類	建別	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	日本	8,343,190,000	0.74

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位 30 銘柄

2023年 8月31日現在

国／地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	18,455,500	1,833.71	33,842,097,664	2,515.00	46,415,582,500	4.14
日本	株式	ソニーグループ	電気機器	2,377,600	11,641.54	27,678,945,354	12,145.00	28,875,952,000	2.57
日本	株式	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	20,731,100	846.24	17,543,541,676	1,163.50	24,120,634,850	2.15
日本	株式	キーエンス	電気機器	336,300	62,518.62	21,025,014,322	60,520.00	20,352,876,000	1.81
日本	株式	日本電信電話	情報・通信業	107,983,800	160.16	17,295,392,205	168.30	18,173,673,540	1.62
日本	株式	日立製作所	電気機器	1,650,700	7,181.63	11,854,727,329	9,694.00	16,001,885,800	1.43
日本	株式	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2,352,600	5,238.32	12,323,673,760	6,681.00	15,717,720,600	1.40
日本	株式	三菱商事	卸売業	2,168,100	4,833.35	10,479,195,390	7,196.00	15,601,647,600	1.39
日本	株式	東京エレクトロン	電気機器	711,300	16,547.58	11,770,294,212	21,575.00	15,346,297,500	1.37
日本	株式	三井物産	卸売業	2,523,900	3,931.82	9,923,523,682	5,432.00	13,709,824,800	1.22
日本	株式	武田薬品工業	医薬品	2,983,200	4,319.27	12,885,261,388	4,508.00	13,448,265,600	1.20
日本	株式	リクルートホールディングス	サービス業	2,558,000	3,792.06	9,700,091,451	5,220.00	13,352,760,000	1.19
日本	株式	任天堂	その他製品	2,122,000	5,213.99	11,064,105,495	6,267.00	13,298,574,000	1.18
日本	株式	信越化学工業	化学	2,798,500	4,224.98	11,823,624,490	4,659.00	13,038,211,500	1.16
日本	株式	本田技研工業	輸送用機器	2,732,100	3,484.41	9,519,762,484	4,703.00	12,849,066,300	1.14

日本	株式	第一三共	医薬品	2,936,600	4,685.58	13,759,686,425	4,299.00	12,624,443,400	1.12
日本	株式	伊藤忠商事	卸売業	2,191,200	4,306.26	9,435,890,518	5,472.00	11,990,246,400	1.07
日本	株式	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	4,787,300	1,881.43	9,006,985,382	2,410.00	11,537,393,000	1.03
日本	株式	ＨＯＹＡ	精密機器	712,100	14,212.75	10,120,900,720	16,155.00	11,503,975,500	1.02
日本	株式	ＫＤＤＩ	情報・通信業	2,604,800	4,117.86	10,726,204,681	4,325.00	11,265,760,000	1.00
日本	株式	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1,662,900	5,103.88	8,487,242,874	6,545.00	10,883,680,500	0.97
日本	株式	東京海上ホールディングス	保険業	3,272,000	2,590.83	8,477,224,024	3,227.00	10,558,744,000	0.94
日本	株式	ダイキン工業	機械	405,300	23,517.04	9,531,459,128	25,225.00	10,223,692,500	0.91
日本	株式	オリエンタルランド	サービス業	1,828,500	4,480.31	8,192,262,705	5,249.00	9,597,796,500	0.86
日本	株式	ソフトバンク	情報・通信業	5,418,800	1,552.36	8,411,981,315	1,670.00	9,049,396,000	0.81
日本	株式	村田製作所	電気機器	1,019,300	7,838.72	7,990,008,310	8,185.00	8,342,970,500	0.74
日本	株式	ＳＭＣ	機械	110,100	69,247.24	7,624,121,790	70,600.00	7,773,060,000	0.69
日本	株式	セブン&アイ・ホールディングス	小売業	1,225,600	5,877.77	7,203,804,373	5,981.00	7,330,313,600	0.65
日本	株式	アステラス製薬	医薬品	3,184,400	1,900.07	6,050,594,686	2,214.50	7,051,853,800	0.63
日本	株式	デンソー	輸送用機器	693,300	7,369.56	5,109,318,580	9,959.00	6,904,574,700	0.62

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

2023年 8月31日現在

種類	業種	投資比率（％）
株式	水産・農林業	0.09
	鉱業	0.36
	建設業	2.09
	食料品	3.36
	繊維製品	0.41
	パルプ・紙	0.17
	化学	5.92
	医薬品	5.10
	石油・石炭製品	0.46
	ゴム製品	0.68
	ガラス・土石製品	0.68
	鉄鋼	0.98
	非鉄金属	0.66
	金属製品	0.51
	機械	5.47
	電気機器	17.19
	輸送用機器	8.29
	精密機器	2.38
	その他製品	2.27
	電気・ガス業	1.37
	陸運業	2.95

海運業	0.66
空運業	0.49
倉庫・運輸関連業	0.14
情報・通信業	8.04
卸売業	6.78
小売業	4.35
銀行業	6.55
証券、商品先物取引業	0.73
保険業	2.24
その他金融業	1.15
不動産業	1.87
サービス業	4.88
小計	99.28
合計	99.28

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

2023年 8月31日現在

資産の種類	取引所名	資産の名称	建別	数量	通貨	簿価金額（円）	評価金額（円）	投資比率（％）
株価指数先物取引	大阪取引所	ＴＯＰＩＸ ２３年０９月限	買建	358	円	8,177,631,900	8,343,190,000	0.74

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該投資資産の評価金額の比率です。

J P X日経４００インデックスマザーファンド

投資状況

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株式	日本	8,215,880,170	98.26
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	145,261,826	1.74
純資産総額		8,361,141,996	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産の種類	建別	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	日本	107,457,000	1.29

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位 30 銘柄

2023年 8月31日現在

国／地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (％)
日本	株式	リクルートホールディングス	サービス業	26,400	4,318.06	113,996,784	5,220.00	137,808,000	1.65
日本	株式	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	114,600	958.14	109,802,844	1,163.50	133,337,100	1.59
日本	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	52,900	1,966.46	104,025,734	2,515.00	133,043,500	1.59
日本	株式	日立製作所	電気機器	13,700	7,275.97	99,680,789	9,694.00	132,807,800	1.59
日本	株式	本田技研工業	輸送用機器	28,100	3,389.03	95,231,743	4,703.00	132,154,300	1.58
日本	株式	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	19,300	5,701.49	110,038,757	6,681.00	128,943,300	1.54
日本	株式	東京エレクトロン	電気機器	5,900	16,171.10	95,409,490	21,575.00	127,292,500	1.52
日本	株式	三菱商事	卸売業	17,600	4,851.50	85,386,400	7,196.00	126,649,600	1.51
日本	株式	三井物産	卸売業	22,600	4,143.63	93,646,038	5,432.00	122,763,200	1.47
日本	株式	武田薬品工業	医薬品	27,000	4,243.30	114,569,100	4,508.00	121,716,000	1.46
日本	株式	日本電信電話	情報・通信業	716,100	158.44	113,458,884	168.30	120,519,630	1.44
日本	株式	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	49,500	2,048.11	101,381,445	2,410.00	119,295,000	1.43
日本	株式	信越化学工業	化学	25,600	3,745.81	95,892,736	4,659.00	119,270,400	1.43
日本	株式	伊藤忠商事	卸売業	21,500	4,388.74	94,357,910	5,472.00	117,648,000	1.41
日本	株式	任天堂	その他製品	18,700	5,730.25	107,155,760	6,267.00	117,192,900	1.40
日本	株式	KDDI	情報・通信業	26,900	4,162.23	111,963,987	4,325.00	116,342,500	1.39
日本	株式	HOYA	精密機器	7,200	14,858.55	106,981,560	16,155.00	116,316,000	1.39
日本	株式	第一三共	医薬品	26,800	4,402.52	117,987,536	4,299.00	115,213,200	1.38
日本	株式	ソニーグループ	電気機器	9,400	11,760.21	110,545,974	12,145.00	114,163,000	1.37
日本	株式	ソフトバンクグループ	情報・通信業	17,200	6,235.35	107,248,020	6,545.00	112,574,000	1.35
日本	株式	東京海上ホールディングス	保険業	33,800	2,828.48	95,602,624	3,227.00	109,072,600	1.30
日本	株式	キーエンス	電気機器	1,800	60,467.30	108,841,140	60,520.00	108,936,000	1.30
日本	株式	ダイキン工業	機械	4,200	23,821.97	100,052,310	25,225.00	105,945,000	1.27
日本	株式	ソフトバンク	情報・通信業	56,000	1,505.71	84,319,760	1,670.00	93,520,000	1.12
日本	株式	村田製作所	電気機器	10,500	7,621.67	80,027,535	8,185.00	85,942,500	1.03
日本	株式	S M C	機械	1,100	67,287.80	74,016,590	70,600.00	77,660,000	0.93

日本	株式	セブン＆アイ・ホールディングス	小売業	12,700	6,083.89	77,265,495	5,981.00	75,958,700	0.91
日本	株式	アステラス製薬	医薬品	32,900	2,002.01	65,866,129	2,214.50	72,857,050	0.87
日本	株式	デンソー	輸送用機器	7,200	7,364.27	53,022,788	9,959.00	71,704,800	0.86
日本	株式	ファナック	電気機器	16,900	4,496.58	75,992,202	4,153.00	70,185,700	0.84

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

2023年 8月31日現在

種類	業種	投資比率（％）
株式	水産・農林業	0.04
	鉱業	0.45
	建設業	2.16
	食料品	3.67
	繊維製品	0.29
	パルプ・紙	0.14
	化学	6.75
	医薬品	6.19
	石油・石炭製品	0.62
	ゴム製品	0.87
	ガラス・土石製品	0.60
	鉄鋼	1.01
	非鉄金属	0.62
	金属製品	0.30
	機械	6.20
	電気機器	17.17
	輸送用機器	6.43
	精密機器	2.96
	その他製品	1.98
	電気・ガス業	1.21
	陸運業	0.53
	海運業	0.89
	倉庫・運輸関連業	0.01
	情報・通信業	9.10
	卸売業	7.44
	小売業	4.00
	銀行業	5.86
	証券、商品先物取引業	0.88
	保険業	2.73
	その他金融業	1.43
	不動産業	2.17
	サービス業	3.54

小計	98.26
合計	98.26

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

2023年 8月31日現在

資産の種類	取引所名	資産の名称	建別	数量	通貨	簿価金額（円）	評価金額（円）	投資比率（％）
株価指数先物取引	大阪取引所	J P X日経インデックス400先物 23年09月限	買建	51	円	105,589,110	107,457,000	1.29

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該投資資産の評価金額の比率です。

日本株インカム・マザーファンド

投資状況

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株式	日本	11,363,968,890	98.68
投資証券	日本	57,020,900	0.50
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	94,818,087	0.82
純資産総額		11,515,807,877	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位30銘柄

2023年 8月31日現在

国／地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 （円）	簿価 金額 （円）	評価 単価 （円）	評価 金額 （円）	投資 比率 （％）
日本	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	323,900	2,407.50	779,789,250	2,515.00	814,608,500	7.07
日本	株式	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	620,600	1,124.50	697,864,700	1,163.50	722,068,100	6.27
日本	株式	三菱商事	卸売業	80,800	7,108.37	574,356,949	7,196.00	581,436,800	5.05

日本	株式	日本電信電話	情報・通信業	2,833,200	159.20	451,045,440	168.30	476,827,560	4.14
日本	株式	武田薬品工業	医薬品	93,600	4,363.00	408,376,800	4,508.00	421,948,800	3.66
日本	株式	大阪ソーダ	化学	54,300	5,733.90	311,351,074	6,990.00	379,557,000	3.30
日本	株式	日本製鉄	鉄鋼	102,000	3,240.91	330,573,061	3,447.00	351,594,000	3.05
日本	株式	東京海上ホールディングス	保険業	96,000	2,970.00	285,120,000	3,227.00	309,792,000	2.69
日本	株式	丸紅	卸売業	120,100	2,426.00	291,362,600	2,384.50	286,378,450	2.49
日本	株式	ソフトバンク	情報・通信業	164,700	1,559.00	256,767,300	1,670.00	275,049,000	2.39
日本	株式	第一生命ホールディングス	保険業	94,900	2,724.50	258,555,050	2,711.50	257,321,350	2.23
日本	株式	三和ホールディングス	金属製品	100,600	1,922.50	193,403,500	2,218.50	223,181,100	1.94
日本	株式	任天堂	その他製品	35,000	6,357.00	222,495,000	6,267.00	219,345,000	1.90
日本	株式	アマダ	機械	136,800	1,354.00	185,227,200	1,544.00	211,219,200	1.83
日本	株式	東海理化電機製作所	輸送用機器	89,900	2,191.00	196,970,900	2,281.00	205,061,900	1.78
日本	株式	マツダ	輸送用機器	133,100	1,413.90	188,190,754	1,532.50	203,975,750	1.77
日本	株式	ダイヘン	電気機器	38,100	4,880.97	185,965,208	5,330.00	203,073,000	1.76
日本	株式	りそなホールディングス	銀行業	261,800	718.50	188,103,300	772.30	202,188,140	1.76
日本	株式	インフロニア・ホールディングス	建設業	130,200	1,376.50	179,220,791	1,522.00	198,164,400	1.72
日本	株式	オリックス	その他金融業	69,200	2,642.50	182,861,000	2,720.00	188,224,000	1.63
日本	株式	ニコン	精密機器	111,100	1,834.00	203,757,400	1,574.00	174,871,400	1.52
日本	株式	豊田通商	卸売業	19,600	8,194.74	160,616,904	8,695.00	170,422,000	1.48
日本	株式	タムロン	精密機器	37,200	4,431.14	164,838,408	4,505.00	167,586,000	1.46
日本	株式	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	24,300	6,461.00	157,002,300	6,681.00	162,348,300	1.41
日本	株式	プレス工業	輸送用機器	240,200	640.22	153,780,844	670.00	160,934,000	1.40
日本	株式	東洋製罐グループホールディングス	金属製品	59,200	2,255.00	133,496,000	2,637.00	156,110,400	1.36
日本	株式	三菱重工業	機械	18,800	6,652.00	125,057,600	8,270.00	155,476,000	1.35
日本	株式	コスモエネルギーホールディングス	石油・石炭製品	28,600	4,778.23	136,657,404	5,240.00	149,864,000	1.30
日本	株式	パイオラックス	金属製品	63,700	2,141.00	136,381,700	2,336.00	148,803,200	1.29
日本	株式	積水ハウス	建設業	46,200	2,863.13	132,276,612	2,970.50	137,237,100	1.19

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

2023年 8月31日現在

種類	業種	投資比率（％）
株式	鉱業	0.36
	建設業	3.69
	食料品	1.00
	繊維製品	0.80
	化学	6.09
	医薬品	3.66
	石油・石炭製品	1.30
	ゴム製品	1.18

	鉄鋼	3.05
	非鉄金属	1.76
	金属製品	4.59
	機械	4.05
	電気機器	4.54
	輸送用機器	14.06
	精密機器	2.97
	その他製品	1.90
	電気・ガス業	0.94
	陸運業	0.98
	海運業	0.99
	倉庫・運輸関連業	1.03
	情報・通信業	7.51
	卸売業	10.22
	小売業	2.09
	銀行業	9.53
	証券、商品先物取引業	1.01
	保険業	4.92
	その他金融業	1.73
	不動産業	1.19
	サービス業	1.52
	小計	98.68
投資証券	—	0.50
合計		99.18

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

J A P A N クオリティ 1 5 0 インデックスマザーファンド

投資状況

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国 / 地域	時価合計	投資比率（％）
株式	日本	4,450,316,290	98.45

コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	69,872,691	1.55
純資産総額		4,520,188,981	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産の種類	建別	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	日本	69,915,000	1.55

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位 30 銘柄

2023年 8月31日現在

国／地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (％)
日本	株式	三菱商事	卸売業	14,100	4,647.25	65,526,225	7,196.00	101,463,600	2.24
日本	株式	リクルートホールディングス	サービス業	19,400	4,167.65	80,852,410	5,220.00	101,268,000	2.24
日本	株式	東京エレクトロン	電気機器	4,600	15,557.46	71,564,335	21,575.00	99,245,000	2.20
日本	株式	三井物産	卸売業	17,800	4,003.29	71,258,652	5,432.00	96,689,600	2.14
日本	株式	丸紅	卸売業	40,300	2,451.94	98,813,182	2,384.50	96,095,350	2.13
日本	株式	伊藤忠商事	卸売業	16,600	4,252.98	70,599,468	5,472.00	90,835,200	2.01
日本	株式	任天堂	その他製品	14,300	5,624.10	80,424,630	6,267.00	89,618,100	1.98
日本	株式	信越化学工業	化学	19,200	3,610.39	69,319,488	4,659.00	89,452,800	1.98
日本	株式	日本電信電話	情報・通信業	527,700	157.35	83,033,595	168.30	88,811,910	1.96
日本	株式	日本たばこ産業	食料品	27,500	2,713.89	74,631,975	3,191.00	87,752,500	1.94
日本	株式	ルネサスエレクトロニクス	電気機器	35,600	1,443.30	51,381,480	2,450.50	87,237,800	1.93
日本	株式	東京海上ホールディングス	保険業	26,900	3,362.72	90,457,168	3,227.00	86,806,300	1.92
日本	株式	KDDI	情報・通信業	19,500	4,126.62	80,469,203	4,325.00	84,337,500	1.87
日本	株式	村田製作所	電気機器	10,300	7,526.70	77,525,050	8,185.00	84,305,500	1.87
日本	株式	富士通	電気機器	4,600	18,614.53	85,626,840	18,205.00	83,743,000	1.85
日本	株式	ファーストリテイリング	小売業	2,500	26,122.49	65,306,225	33,480.00	83,700,000	1.85
日本	株式	中外製薬	医薬品	18,700	3,513.03	65,693,661	4,457.00	83,345,900	1.84
日本	株式	ＨＯＹＡ	精密機器	5,000	14,640.58	73,202,904	16,155.00	80,775,000	1.79
日本	株式	キーエンス	電気機器	1,300	58,970.00	76,661,000	60,520.00	78,676,000	1.74
日本	株式	スズキ	輸送用機器	13,700	5,059.86	69,320,152	5,735.00	78,569,500	1.74
日本	株式	S M C	機械	1,100	64,780.00	71,258,000	70,600.00	77,660,000	1.72
日本	株式	ユニ・チャーム	化学	13,000	4,989.98	64,869,765	5,812.00	75,556,000	1.67

日本	株式	ディスコ	機械	2,500	13,499.60	33,749,000	28,745.00	71,862,500	1.59
日本	株式	ファナック	電気機器	17,200	4,517.46	77,700,312	4,153.00	71,431,600	1.58
日本	株式	オリンパス	精密機器	35,200	2,409.62	84,818,624	1,970.50	69,361,600	1.53
日本	株式	アドバンテスト	電気機器	3,600	10,348.81	37,255,750	18,310.00	65,916,000	1.46
日本	株式	パンダイナムコホールディングス	その他製品	18,500	2,910.92	53,852,020	3,382.00	62,567,000	1.38
日本	株式	I N P E X	鉱業	28,700	1,644.62	47,200,594	2,035.00	58,404,500	1.29
日本	株式	積水ハウス	建設業	19,000	2,543.51	48,326,690	2,970.50	56,439,500	1.25
日本	株式	塩野義製薬	医薬品	8,600	6,268.28	53,907,265	6,417.00	55,186,200	1.22

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

2023年 8月31日現在

種類	業種	投資比率（％）
株式	鉱業	1.39
	建設業	1.65
	食料品	5.39
	繊維製品	0.36
	化学	7.10
	医薬品	4.85
	ガラス・土石製品	0.55
	鉄鋼	0.20
	金属製品	0.73
	機械	4.90
	電気機器	19.60
	輸送用機器	3.89
	精密機器	4.65
	その他製品	3.49
	電気・ガス業	0.90
	陸運業	1.23
	情報・通信業	12.64
	卸売業	10.18
	小売業	5.68
	保険業	1.92
	その他金融業	1.04
	不動産業	1.23
	サービス業	4.88
	小計	98.45
合計		98.45

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

2023年 8月31日現在

資産の種類	取引所名	資産の名称	建別	数量	通貨	簿価金額（円）	評価金額（円）	投資比率（％）
株価指数先物取引	大阪取引所	ＴＯＰＩＸ ２３年０９月限	買建	3	円	68,336,650	69,915,000	1.55

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該投資資産の評価金額の比率です。

日本・小型株・ファンド・マザーファンド

投資状況

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株式	日本	11,324,835,350	97.40
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	302,582,588	2.60
純資産総額		11,627,417,938	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位 30 銘柄

2023年 8月31日現在

国／地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価単価（円）	簿価金額（円）	評価単価（円）	評価金額（円）	投資比率（％）
日本	株式	インフロニア・ホールディングス	建設業	201,000	1,327.50	266,827,500	1,522.00	305,922,000	2.63
日本	株式	MARUWA	ガラス・土石製品	10,900	19,590.00	213,531,000	27,130.00	295,717,000	2.54
日本	株式	アダストリア	小売業	94,500	2,970.00	280,665,000	2,914.00	275,373,000	2.37
日本	株式	円谷フィールズホールディングス	卸売業	99,900	2,614.00	261,138,600	2,613.00	261,038,700	2.25
日本	株式	Sansan	情報・通信業	177,100	1,742.84	308,658,504	1,452.00	257,149,200	2.21
日本	株式	トプコン	精密機器	129,800	2,050.50	266,154,900	1,757.00	228,058,600	1.96
日本	株式	住友バークライト	化学	33,000	5,705.00	188,265,000	6,893.00	227,469,000	1.96
日本	株式	メイコー	電気機器	59,400	2,613.92	155,266,913	3,575.00	212,355,000	1.83
日本	株式	ベйкаレント・コンサルティング	サービス業	42,200	5,402.00	227,964,400	5,013.00	211,548,600	1.82
日本	株式	インターネットイニシアティブ	情報・通信業	82,900	2,785.00	230,876,500	2,534.00	210,068,600	1.81

日本	株式	Appier Group	情報・通信業	116,900	1,745.69	204,072,241	1,771.00	207,029,900	1.78
日本	株式	バルグループホールディングス	小売業	100,400	1,922.63	193,032,742	2,055.00	206,322,000	1.77
日本	株式	ライフドリンクカンパニー	食料品	49,600	3,592.38	178,182,320	4,120.00	204,352,000	1.76
日本	株式	ANYCOLOR	情報・通信業	60,000	3,718.04	223,082,856	3,385.00	203,100,000	1.75
日本	株式	物語コーポレーション	小売業	42,600	3,340.00	142,284,000	4,760.00	202,776,000	1.74
日本	株式	フルキャストホールディングス	サービス業	97,200	2,308.00	224,337,600	2,079.00	202,078,800	1.74
日本	株式	電通国際情報サービス	情報・通信業	33,000	5,300.00	174,900,000	5,830.00	192,390,000	1.65
日本	株式	デクセリアルズ	化学	52,900	3,111.58	164,602,770	3,612.00	191,074,800	1.64
日本	株式	スミダコーポレーション	電気機器	115,200	1,373.45	158,221,812	1,658.00	191,001,600	1.64
日本	株式	ビジョナル	情報・通信業	24,300	7,759.41	188,553,888	7,660.00	186,138,000	1.60
日本	株式	グローリー	機械	60,100	2,806.50	168,670,650	3,078.00	184,987,800	1.59
日本	株式	ラクスル	情報・通信業	131,200	1,356.03	177,912,070	1,408.00	184,729,600	1.59
日本	株式	前田工織	その他製品	58,500	3,179.11	185,978,417	3,130.00	183,105,000	1.57
日本	株式	トヨタ紡織	輸送用機器	66,400	2,427.50	161,186,000	2,757.50	183,098,000	1.57
日本	株式	SHOEI	その他製品	73,900	2,617.00	193,396,300	2,468.00	182,385,200	1.57
日本	株式	ジャパンマテリアル	サービス業	68,100	2,346.00	159,762,600	2,665.00	181,486,500	1.56
日本	株式	ネクステージ	小売業	54,400	2,770.00	150,688,000	3,280.00	178,432,000	1.53
日本	株式	NECネットエスアイ	情報・通信業	89,100	1,984.00	176,774,400	1,943.00	173,121,300	1.49
日本	株式	セブテーニ・ホールディングス	サービス業	406,500	371.00	150,811,500	424.00	172,356,000	1.48
日本	株式	ニチハ	ガラス・土石製品	55,000	3,140.46	172,725,671	3,125.00	171,875,000	1.48

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

2023年 8月31日現在

種類	業種	投資比率（％）
株式	水産・農林業	0.96
	建設業	2.63
	食料品	3.88
	繊維製品	0.69
	化学	7.32
	医薬品	1.19
	ガラス・土石製品	5.36
	金属製品	0.65
	機械	5.41
	電気機器	8.03
	輸送用機器	1.57
	精密機器	3.18

その他製品	3.54
陸運業	0.86
情報・通信業	18.83
卸売業	3.60
小売業	11.27
銀行業	1.02
保険業	0.50
その他金融業	2.48
不動産業	2.72
サービス業	11.70
小計	97.40
合計	97.40

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

日本株式最小分散インデックスマザーファンド

投資状況

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株式	日本	13,061,303,510	98.76
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	163,513,654	1.24
純資産総額		13,224,817,164	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産の種類	建別	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	日本	163,135,000	1.23

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位 30 銘柄

2023年 8月31日現在

国／ 地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	93,600	2,039.38	190,886,770	2,515.00	235,404,000	1.78
日本	株式	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	198,000	719.20	142,403,416	1,163.50	230,373,000	1.74
日本	株式	関西電力	電気・ガス業	106,600	1,148.66	122,448,132	2,074.00	221,088,400	1.67
日本	株式	中部電力	電気・ガス業	113,500	1,236.77	140,374,529	1,945.00	220,757,500	1.67
日本	株式	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	32,500	4,253.38	138,234,850	6,681.00	217,132,500	1.64
日本	株式	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	88,300	1,637.58	144,598,812	2,410.00	212,803,000	1.61
日本	株式	伊藤忠商事	卸売業	38,000	3,910.14	148,585,320	5,472.00	207,936,000	1.57
日本	株式	大塚ホールディングス	医薬品	37,300	4,777.83	178,213,224	5,546.00	206,865,800	1.56
日本	株式	ソフトバンク	情報・通信業	121,200	1,471.77	178,379,430	1,670.00	202,404,000	1.53
日本	株式	東海旅客鉄道	陸運業	10,800	17,099.98	184,679,784	18,690.00	201,852,000	1.53
日本	株式	セコム	サービス業	19,700	8,513.10	167,708,248	10,195.00	200,841,500	1.52
日本	株式	ゆうちょ銀行	銀行業	171,200	999.22	171,067,657	1,168.50	200,047,200	1.51
日本	株式	日本郵政	サービス業	177,200	1,001.57	177,479,222	1,117.00	197,932,400	1.50
日本	株式	中外製薬	医薬品	43,300	3,527.80	152,753,760	4,457.00	192,988,100	1.46
日本	株式	キヤノン	電気機器	53,700	3,187.34	171,160,550	3,588.00	192,675,600	1.46
日本	株式	任天堂	その他製品	30,700	6,035.50	185,290,030	6,267.00	192,396,900	1.45
日本	株式	東京海上ホールディングス	保険業	59,600	2,703.09	161,104,185	3,227.00	192,329,200	1.45
日本	株式	日本たばこ産業	食料品	60,200	2,494.65	150,178,440	3,191.00	192,098,200	1.45
日本	株式	日本電信電話	情報・通信業	1,112,400	162.90	181,220,760	168.30	187,216,920	1.42
日本	株式	積水ハウス	建設業	63,000	2,508.12	158,011,871	2,970.50	187,141,500	1.42
日本	株式	日本マクドナルドホールディングス	小売業	32,300	5,179.75	167,306,072	5,790.00	187,017,000	1.41
日本	株式	武田薬品工業	医薬品	41,100	3,943.64	162,083,850	4,508.00	185,278,800	1.40
日本	株式	ブリヂストン	ゴム製品	32,400	5,369.65	173,976,660	5,661.00	183,416,400	1.39
日本	株式	オービック	情報・通信業	7,200	22,328.23	160,763,256	25,330.00	182,376,000	1.38
日本	株式	京セラ	電気機器	24,300	7,400.92	179,842,356	7,478.00	181,715,400	1.37
日本	株式	明治ホールディングス	食料品	49,600	3,074.92	152,516,032	3,652.00	181,139,200	1.37
日本	株式	アステラス製薬	医薬品	80,900	2,052.46	166,044,048	2,214.50	179,153,050	1.35
日本	株式	KDDI	情報・通信業	41,100	4,349.25	178,754,190	4,325.00	177,757,500	1.34
日本	株式	三菱商事	卸売業	24,600	4,123.35	101,434,410	7,196.00	177,021,600	1.34
日本	株式	東日本旅客鉄道	陸運業	20,900	7,962.49	166,416,041	8,232.00	172,048,800	1.30

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

2023年 8月31日現在

種類	業種	投資比率（％）
株式	建設業	5.07
	食料品	7.65
	繊維製品	0.21
	パルプ・紙	0.19
	化学	4.75
	医薬品	9.61
	石油・石炭製品	1.21
	ゴム製品	1.39
	機械	1.07
	電気機器	9.24
	輸送用機器	3.19
	精密機器	1.51
	その他製品	2.66
	電気・ガス業	5.44
	陸運業	7.52
	空運業	0.16
	情報・通信業	10.93
	卸売業	4.14
	小売業	4.39
	銀行業	7.84
	保険業	3.15
	その他金融業	0.71
	不動産業	1.92
	サービス業	4.78
	小計	98.76
合計		98.76

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

2023年 8月31日現在

資産の種類	取引所名	資産の名称	建別	数量	通貨	簿価金額（円）	評価金額（円）	投資比率（％）
-------	------	-------	----	----	----	---------	---------	---------

株価指数先物取引	大阪取引所	ＴＯＰＩＸ ２３年０９月限	買建	7	円	155,053,850	163,135,000	1.23
----------	-------	---------------	----	---	---	-------------	-------------	------

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該投資資産の評価金額の比率です。

ジャパン・アクティブ・マザーファンド

投資状況

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株式	日本	4,123,433,590	98.64
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	56,858,350	1.36
純資産総額		4,180,291,940	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位 30 銘柄

2023年 8月31日現在

国／地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (％)
日本	株式	ソニーグループ	電気機器	16,800	10,789.00	181,255,217	12,145.00	204,036,000	4.88
日本	株式	第一三共	医薬品	33,400	4,654.16	155,448,944	4,299.00	143,586,600	3.43
日本	株式	日立製作所	電気機器	13,900	7,479.79	103,969,081	9,694.00	134,746,600	3.22
日本	株式	三菱商事	卸売業	17,400	4,304.67	74,901,323	7,196.00	125,210,400	3.00
日本	株式	FOOD & LIFE COMPANYIE	小売業	42,200	2,694.00	113,687,051	2,768.50	116,830,700	2.79
日本	株式	東京海上ホールディングス	保険業	35,000	2,732.65	95,642,945	3,227.00	112,945,000	2.70
日本	株式	日本電信電話	情報・通信業	670,500	162.93	109,250,644	168.30	112,845,150	2.70
日本	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	42,100	2,018.90	84,995,690	2,515.00	105,881,500	2.53
日本	株式	ルネサスエレクトロニクス	電気機器	41,400	1,693.75	70,121,663	2,450.50	101,450,700	2.43
日本	株式	大阪ソーダ	化学	13,500	4,341.26	58,607,010	6,990.00	94,365,000	2.26
日本	株式	日本製鉄	鉄鋼	27,100	2,599.97	70,459,187	3,447.00	93,413,700	2.23
日本	株式	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	70,700	745.62	52,715,334	1,163.50	82,259,450	1.97
日本	株式	三菱マテリアル	非鉄金属	33,600	2,270.09	76,275,097	2,446.50	82,202,400	1.97
日本	株式	ニコン	精密機器	51,500	1,529.95	78,792,610	1,574.00	81,061,000	1.94
日本	株式	丸紅	卸売業	30,300	1,673.21	50,698,553	2,384.50	72,250,350	1.73
日本	株式	アドバンテスト	電気機器	3,600	9,715.90	34,977,252	18,310.00	65,916,000	1.58
日本	株式	M & Aキャピタルパートナーズ	サービス業	22,900	3,527.11	80,770,872	2,819.00	64,555,100	1.54
日本	株式	アマダ	機械	41,600	1,242.02	51,668,032	1,544.00	64,230,400	1.54

日本	株式	ジーエス・ユアサ コーポレーション	電気機器	23,000	2,356.04	54,188,938	2,765.00	63,595,000	1.52
日本	株式	マツダ	輸送用機器	41,300	1,199.48	49,538,524	1,532.50	63,292,250	1.51
日本	株式	オリエンタルランド	サービス業	12,000	4,736.14	56,833,686	5,249.00	62,988,000	1.51
日本	株式	野村不動産ホールディングス	不動産業	17,100	3,301.69	56,458,899	3,668.00	62,722,800	1.50
日本	株式	味の素	食料品	10,100	4,220.79	42,629,979	6,173.00	62,347,300	1.49
日本	株式	マースグループホールディングス	機械	21,800	3,010.58	65,630,701	2,858.00	62,304,400	1.49
日本	株式	第一生命ホールディングス	保険業	22,900	2,439.13	55,856,286	2,711.50	62,093,350	1.49
日本	株式	カブコン	情報・通信業	10,100	4,291.05	43,339,605	6,143.00	62,044,300	1.48
日本	株式	富士通	電気機器	3,400	17,601.59	59,845,432	18,205.00	61,897,000	1.48
日本	株式	エービーシー・マート	小売業	23,300	2,291.15	53,383,795	2,650.50	61,756,650	1.48
日本	株式	信越化学工業	化学	13,200	3,227.75	42,606,396	4,659.00	61,498,800	1.47
日本	株式	村田製作所	電気機器	7,500	7,474.53	56,059,029	8,185.00	61,387,500	1.47

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

2023年 8月31日現在

種類	業種	投資比率（％）
株式	鉱業	0.49
	建設業	3.02
	食料品	4.74
	繊維製品	0.48
	化学	5.21
	医薬品	5.16
	石油・石炭製品	1.22
	鉄鋼	2.23
	非鉄金属	1.97
	機械	6.03
	電気機器	18.01
	輸送用機器	7.09
	精密機器	1.94
	その他製品	1.28
	陸運業	2.44
	倉庫・運輸関連業	0.97
	情報・通信業	8.08
	卸売業	6.16
	小売業	5.47
	銀行業	2.96
	証券、商品先物取引業	0.99
	保険業	4.19
	その他金融業	1.24
	不動産業	1.99

	サービス業	5.28
	小計	98.64
合計		98.64

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

日本株ＥＳＧアクティブマザーファンド

投資状況

2023年 8月31日現在
（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株式	日本	2,393,689,840	96.47
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	87,685,188	3.53
純資産総額		2,481,375,028	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位３０銘柄

2023年 8月31日現在

国／地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (％)
日本	株式	カブコン	情報・通信業	22,800	5,433.20	123,876,997	6,143.00	140,060,400	5.64
日本	株式	日立製作所	電気機器	12,500	8,057.00	100,712,500	9,694.00	121,175,000	4.88
日本	株式	ソニーグループ	電気機器	9,500	13,254.83	125,920,973	12,145.00	115,377,500	4.65
日本	株式	味の素	食料品	17,900	5,378.00	96,266,200	6,173.00	110,496,700	4.45
日本	株式	リクルートホールディングス	サービス業	21,000	4,610.95	96,829,959	5,220.00	109,620,000	4.42
日本	株式	凸版印刷	その他製品	30,500	2,904.00	88,572,000	3,521.00	107,390,500	4.33
日本	株式	日本瓦斯	小売業	46,800	1,991.26	93,191,422	2,274.50	106,446,600	4.29
日本	株式	パンダイナムコホールディングス	その他製品	30,400	3,276.17	99,595,642	3,382.00	102,812,800	4.14

日本	株式	ディスコ	機械	3,500	19,590.00	68,565,000	28,745.00	100,607,500	4.05
日本	株式	セブン&アイ・ホールディングス	小売業	16,000	6,231.40	99,702,508	5,981.00	95,696,000	3.86
日本	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	34,200	1,954.45	66,842,190	2,515.00	86,013,000	3.47
日本	株式	三菱ケミカルグループ	化学	98,300	826.28	81,224,183	870.30	85,550,490	3.45
日本	株式	三菱マテリアル	非鉄金属	31,900	2,389.98	76,240,362	2,446.50	78,043,350	3.15
日本	株式	積水ハウス	建設業	24,800	2,845.41	70,566,336	2,970.50	73,668,400	2.97
日本	株式	奥村組	建設業	15,700	3,865.00	60,680,500	4,555.00	71,513,500	2.88
日本	株式	ブリヂストン	ゴム製品	11,900	5,691.68	67,731,017	5,661.00	67,365,900	2.71
日本	株式	富士通	電気機器	3,700	18,105.00	66,988,500	18,205.00	67,358,500	2.71
日本	株式	リコー	電気機器	54,300	1,174.00	63,748,200	1,188.00	64,508,400	2.60
日本	株式	三菱商事	卸売業	8,800	5,639.00	49,623,200	7,196.00	63,324,800	2.55
日本	株式	第一三共	医薬品	14,400	4,581.00	65,966,400	4,299.00	61,905,600	2.49
日本	株式	村田製作所	電気機器	7,500	8,107.00	60,802,500	8,185.00	61,387,500	2.47
日本	株式	オリエンタルランド	サービス業	9,900	5,234.00	51,816,600	5,249.00	51,965,100	2.09
日本	株式	ニフコ	化学	11,800	3,875.00	45,725,000	4,300.00	50,740,000	2.04
日本	株式	北國フィナンシャルホールディングス	銀行業	10,200	4,935.00	50,337,000	4,920.00	50,184,000	2.02
日本	株式	都築電気	情報・通信業	19,500	2,062.82	40,225,100	2,351.00	45,844,500	1.85
日本	株式	ヤマハ	その他製品	8,900	5,550.00	49,395,000	4,499.00	40,041,100	1.61
日本	株式	オムロン	電気機器	5,600	8,516.00	47,689,600	7,038.00	39,412,800	1.59
日本	株式	京セラ	電気機器	5,100	7,588.00	38,698,800	7,478.00	38,137,800	1.54
日本	株式	丸井グループ	小売業	14,200	2,381.00	33,810,200	2,522.50	35,819,500	1.44
日本	株式	日本製紙	パルプ・紙	25,200	1,195.32	30,122,121	1,303.00	32,835,600	1.32

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

2023年 8月31日現在

種類	業種	投資比率（％）
株式	建設業	5.85
	食料品	5.75
	繊維製品	0.85
	パルプ・紙	1.32
	化学	5.49
	医薬品	3.48
	ゴム製品	2.71
	非鉄金属	3.15
	機械	5.18
	電気機器	20.45
	輸送用機器	3.47
	精密機器	0.52
	その他製品	10.08
	情報・通信業	7.49
	卸売業	2.55

	小売業	9.59
	銀行業	2.02
	サービス業	6.51
	小計	96.47
合計		96.47

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

ジャパンＥＳＧセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド

投資状況

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株式	日本	3,419,444,840	97.40
投資証券	日本	44,713,300	1.27
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	46,507,654	1.33
純資産総額		3,510,665,794	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産の種類	建別	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	日本	46,610,000	1.33

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位 30 銘柄

2023年 8月31日現在

国／ 地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	109,000	1,922.65	209,569,247	2,515.00	274,135,000	7.81
日本	株式	ソニーグループ	電気機器	13,000	11,765.00	152,945,123	12,145.00	157,885,000	4.50
日本	株式	東京エレクトロン	電気機器	4,800	15,911.36	76,374,533	21,575.00	103,560,000	2.95
日本	株式	日立製作所	電気機器	9,600	7,110.27	68,258,678	9,694.00	93,062,400	2.65
日本	株式	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	13,100	5,685.49	74,479,919	6,681.00	87,521,100	2.49
日本	株式	第一三共	医薬品	19,000	4,409.52	83,780,900	4,299.00	81,681,000	2.33
日本	株式	リクルートホールディングス	サービス業	14,800	4,297.13	63,597,584	5,220.00	77,256,000	2.20
日本	株式	三井物産	卸売業	13,500	4,024.69	54,333,374	5,432.00	73,332,000	2.09
日本	株式	ダイキン工業	機械	2,700	23,455.01	63,328,539	25,225.00	68,107,500	1.94
日本	株式	任天堂	その他製品	10,700	5,686.21	60,842,539	6,267.00	67,056,900	1.91
日本	株式	伊藤忠商事	卸売業	12,200	4,293.87	52,385,292	5,472.00	66,758,400	1.90
日本	株式	K D D I	情報・通信業	15,400	4,138.53	63,733,429	4,325.00	66,605,000	1.90
日本	株式	ファーストリテイリング	小売業	1,800	27,345.52	49,221,936	33,480.00	60,264,000	1.72
日本	株式	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	24,800	2,066.38	51,246,467	2,410.00	59,768,000	1.70
日本	株式	東京海上ホールディングス	保険業	18,500	2,801.34	51,824,964	3,227.00	59,699,500	1.70
日本	株式	オリエンタルランド	サービス業	11,200	4,454.57	49,891,245	5,249.00	58,788,800	1.67
日本	株式	H O Y A	精密機器	3,600	17,453.27	62,831,772	16,155.00	58,158,000	1.66
日本	株式	ソフトバンク	情報・通信業	29,500	1,496.67	44,151,993	1,670.00	49,265,000	1.40
日本	株式	村田製作所	電気機器	5,900	7,554.47	44,571,392	8,185.00	48,291,500	1.38
日本	株式	アステラス製薬	医薬品	18,600	2,001.02	37,219,006	2,214.50	41,189,700	1.17
日本	株式	ファナック	電気機器	9,800	4,481.12	43,915,001	4,153.00	40,699,400	1.16
日本	株式	小松製作所	機械	9,500	3,197.44	30,375,710	4,150.00	39,425,000	1.12
日本	株式	パナソニック ホールディングス	電気機器	22,700	1,244.79	28,256,809	1,679.50	38,124,650	1.09
日本	株式	アドバンテスト	電気機器	2,000	10,721.64	21,443,290	18,310.00	36,620,000	1.04
日本	株式	丸紅	卸売業	14,800	1,673.69	24,770,612	2,384.50	35,290,600	1.01
日本	株式	ブリヂストン	ゴム製品	5,900	4,994.89	29,469,861	5,661.00	33,399,900	0.95
日本	株式	富士通	電気機器	1,800	18,606.11	33,491,001	18,205.00	32,769,000	0.93
日本	株式	富士フイルムホールディングス	化学	3,800	7,106.52	27,004,778	8,614.00	32,733,200	0.93
日本	株式	オリックス	その他金融業	12,000	2,294.91	27,538,971	2,720.00	32,640,000	0.93
日本	株式	ルネサスエレクトロニクス	電気機器	13,100	2,308.16	30,236,899	2,450.50	32,101,550	0.91

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類／業種別投資比率

2023年 8月31日現在

種類	業種	投資比率（％）
株式	鉱業	0.58
	建設業	1.69

	食料品	3.45
	繊維製品	0.42
	化学	5.55
	医薬品	5.21
	石油・石炭製品	0.46
	ゴム製品	0.96
	ガラス・土石製品	0.41
	鉄鋼	1.39
	非鉄金属	0.60
	金属製品	0.16
	機械	5.85
	電気機器	20.92
	輸送用機器	8.31
	精密機器	2.09
	その他製品	2.76
	電気・ガス業	1.07
	陸運業	2.76
	海運業	0.55
	空運業	0.15
	倉庫・運輸関連業	0.02
	情報・通信業	5.68
	卸売業	5.15
	小売業	3.55
	銀行業	5.21
	証券、商品先物取引業	0.82
	保険業	3.24
	その他金融業	0.99
	不動産業	2.15
	サービス業	5.27
	小計	97.40
投資証券	—	1.27
合計		98.68

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

2023年 8月31日現在

資産の種類	取引所名	資産の名称	建別	数量	通貨	簿価金額（円）	評価金額（円）	投資比率（％）
-------	------	-------	----	----	----	---------	---------	---------

株価指数先物取引	大阪取引所	ＴＯＰＩＸ ２３年０９月限	買建	2	円	44,301,100	46,610,000	1.33
----------	-------	---------------	----	---	---	------------	------------	------

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該投資資産の評価金額の比率です。

クオリティ企業厳選投資日本株マザーファンド（ＥＳＧ）

投資状況

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株式	日本	5,000,804,940	98.99
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	51,153,877	1.01
純資産総額		5,051,958,817	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位 30 銘柄

2023年 8月31日現在

国／地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (％)
日本	株式	KDDI	情報・通信業	61,900	4,233.37	262,045,859	4,325.00	267,717,500	5.30
日本	株式	伊藤忠商事	卸売業	45,900	5,698.16	261,545,928	5,472.00	251,164,800	4.97
日本	株式	野村総合研究所	情報・通信業	57,900	4,011.27	232,252,631	4,185.00	242,311,500	4.80
日本	株式	カブコン	情報・通信業	39,200	6,113.00	239,629,600	6,143.00	240,805,600	4.77
日本	株式	ソニーグループ	電気機器	19,400	12,212.13	236,915,404	12,145.00	235,613,000	4.66
日本	株式	第一三共	医薬品	53,600	4,372.63	234,373,269	4,299.00	230,426,400	4.56
日本	株式	ダイキン工業	機械	9,100	24,640.70	224,230,420	25,225.00	229,547,500	4.54
日本	株式	ファーストリテイリング	小売業	6,600	34,122.28	225,207,064	33,480.00	220,968,000	4.37
日本	株式	ZOZO	小売業	75,500	2,712.20	204,771,117	2,909.50	219,667,250	4.35
日本	株式	リクルートホールディングス	サービス業	41,900	4,955.66	207,642,162	5,220.00	218,718,000	4.33
日本	株式	東京海上ホールディングス	保険業	67,400	3,105.84	209,334,283	3,227.00	217,499,800	4.31
日本	株式	本田技研工業	輸送用機器	45,300	4,502.48	203,962,454	4,703.00	213,045,900	4.22
日本	株式	りそなホールディングス	銀行業	274,300	721.30	197,852,590	772.30	211,841,890	4.19
日本	株式	クボタ	機械	88,500	2,192.98	194,078,793	2,335.00	206,647,500	4.09
日本	株式	ＨＯＹＡ	精密機器	12,700	16,255.83	206,449,167	16,155.00	205,168,500	4.06
日本	株式	村田製作所	電気機器	24,400	8,070.77	196,926,987	8,185.00	199,714,000	3.95
日本	株式	オムロン	電気機器	28,000	7,002.87	196,080,416	7,038.00	197,064,000	3.90
日本	株式	第一生命ホールディングス	保険業	70,200	2,706.50	189,996,300	2,711.50	190,347,300	3.77

日本	株式	日本ペイントホールディングス	化学	162,500	1,135.76	184,561,996	1,126.00	182,975,000	3.62
日本	株式	オリエンタルランド	サービス業	34,400	5,344.54	183,852,390	5,249.00	180,565,600	3.57
日本	株式	三浦工業	機械	50,800	3,260.17	165,616,972	3,365.00	170,942,000	3.38
日本	株式	東京エレクトロン	電気機器	7,900	20,628.29	162,963,494	21,575.00	170,442,500	3.37
日本	株式	シスメックス	電気機器	19,300	7,921.31	152,881,351	7,751.00	149,594,300	2.96
日本	株式	ヤマハ	その他製品	32,900	4,576.14	150,555,082	4,499.00	148,017,100	2.93

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

2023年 8月31日現在

種類	業種	投資比率（％）
株式	化学	3.62
	医薬品	4.56
	機械	12.02
	電気機器	18.85
	輸送用機器	4.22
	精密機器	4.06
	その他製品	2.93
	情報・通信業	14.86
	卸売業	4.97
	小売業	8.72
	銀行業	4.19
	保険業	8.07
	サービス業	7.90
	小計	98.99
合計		98.99

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

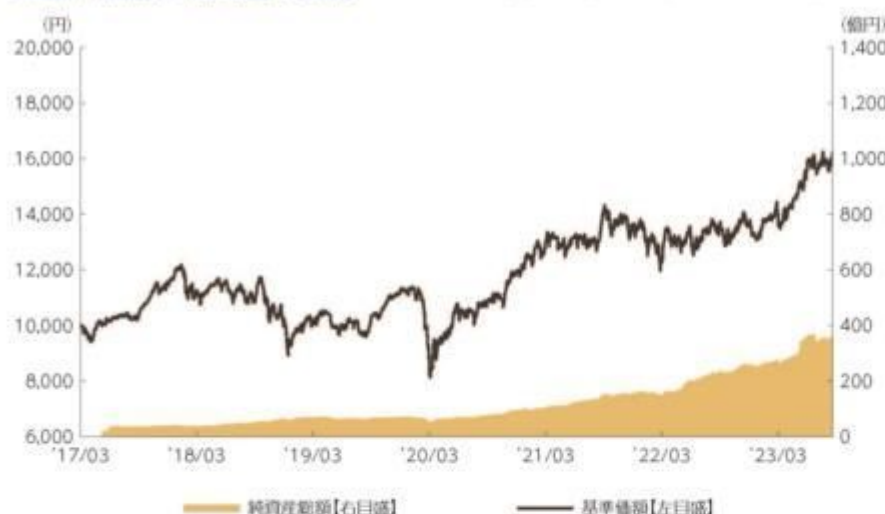
参考情報



運用実績

2023年8月31日現在

■基準価額・純資産の推移 2017年3月13日（設定日）～2023年8月31日



■基準価額・純資産

基準価額	16,196円
純資産総額	364.0億円

●純資産総額は表示桁未満切捨て

■分配の推移

2023年 2月	0円
2022年 2月	0円
2021年 2月	0円
2020年 2月	0円
2019年 2月	0円
2018年 2月	0円
設定来累計	0円

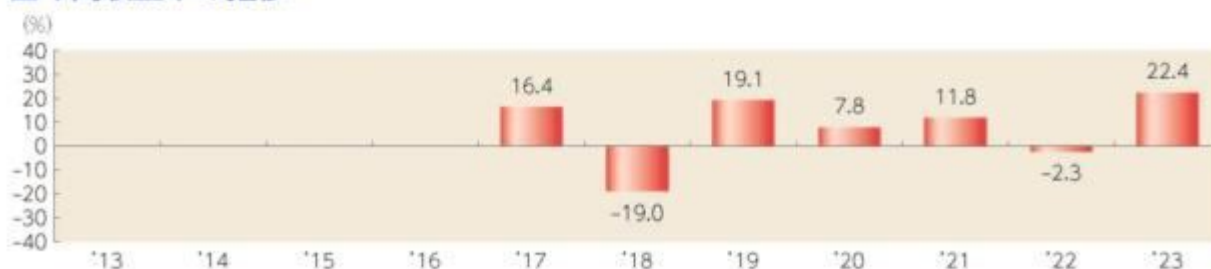
●分配金は1万口当たり、税引前

■主要な資産の状況

組入上位銘柄	比率
1 TOPIXマザーファンド	34.1%
2 日本株インカム・マザーファンド	14.7%
3 クオリティ企業厳選投資日本株マザーファンド(ESG)	11.7%
4 日本株式最小分散インデックスマザーファンド	9.7%
5 日本・小型株・ファンド・マザーファンド	6.9%
6 日本株ESGアクティブマザーファンド	4.9%
7 ジャパン・アクティブ・マザーファンド	4.9%
8 ジャパンESGセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド	3.9%
9 JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド	3.9%
10 JPX日経400インデックスマザーファンド	2.9%

●比率はファンドの純資産総額に対する投資比率（小数点第二位四捨五入）

■年間収益率の推移



- 収益率は基準価額で計算
- 2017年は設定日から年末までの、2023年は年初から8月31日までの収益率を表示
- ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

第２【管理及び運営】

１【申込（販売）手続等】

< 訂正前 >

申込みの受付

原則として、いつでも申込みができます。

ただし、以下の日は申込みができません。

ニューヨーク証券取引所の休業日の前営業日

ニューヨークの銀行の休業日の前営業日

ロンドン証券取引所の休業日の前営業日

ロンドンの銀行の休業日の前営業日

取得申込者の受益権は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されます。

申込単位

販売会社が定める単位

申込価額

取得申込受付日の翌々営業日の基準価額

申込価額の算出頻度

原則として、委託会社の営業日に計算されます。

申込単位・申込価額の照会方法

申込単位および申込価額は、販売会社にてご確認ください。

また、下記においてもご照会いただけます。

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00）

なお、申込価額は委託会社のホームページでもご覧いただけます。

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

申込手数料

ありません。

申込方法

取得申込者は、販売会社に取引口座を開設のうえ、申込みを行うものとします。

取得申込者は、申込金額を販売会社が定める日までに支払うものとします。

なお、申込みには分配金受取コース（一般コース）と分配金再投資コース（累積投資コース）があります。申込みコースの取扱いの販売会社により異なる場合があります。

申込受付時間

取得の申込みは、申込期間において、原則として販売会社の営業日の午後３時までに、販売会社所定の方法で行われます。取得申込みが行われ、かつ当該取得申込みに係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。当該時刻を過ぎての申込みに関しては販売会社にご確認ください。

取得申込みの受付の中止および取消し

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情（投資対象証券の取得の制限等）があるときは、取得申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた取得申込みの受付を取り消すことがあります。

また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況

動向や資金流入の動向等に応じて、取得の申込みの受付を中止することがあります。

申込（販売）手続等の詳細に関しては販売会社にご確認ください。

< 訂正後 >

申込みの受付

原則として、いつでも申込みができます。

ただし、以下の日は申込みができません。

ニューヨーク証券取引所の休業日の前営業日

ニューヨークの銀行の休業日の前営業日

ロンドン証券取引所の休業日の前営業日

ロンドンの銀行の休業日の前営業日

取得申込者の受益権は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されます。

申込単位

販売会社が定める単位

申込価額

取得申込受付日の翌々営業日の基準価額

申込価額の算出頻度

原則として、委託会社の営業日に計算されます。

申込単位・申込価額の照会方法

申込単位および申込価額は、販売会社にてご確認ください。

また、下記においてもご照会いただけます。

三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00）

なお、申込価額は委託会社のホームページでもご覧いただけます。

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

申込手数料

ありません。

申込方法

取得申込者は、販売会社取引口座を開設のうえ、申込みを行うものとします。

取得申込者は、申込金額を販売会社が定める日までに支払うものとします。

なお、申込みには分配金受取コース（一般コース）と分配金再投資コース（累積投資コース）があります。申込みコースの取扱いには販売会社により異なる場合があります。

申込受付時間

取得の申込みは、申込期間において、原則として販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社所定の方法で行われます。取得申込みが行われ、かつ当該取得申込みに係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。当該時刻を過ぎての申込みに関しては販売会社にご確認ください。

取得申込みの受付の中止および取消し

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情（投資対象証券の取得の制限等）があるときは、取得申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた取得申込みの受付を取り消すことがあります。

また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、取得の申込みの受付を中止することがあります。

申込（販売）手続等の詳細に関しては販売会社にご確認ください。

2【換金（解約）手続等】

< 訂正前 >

解約の受付

原則として、いつでも解約の請求ができます。

ただし、以下の日は解約の請求ができません。

ニューヨーク証券取引所の休業日の前営業日

ニューヨークの銀行の休業日の前営業日

ロンドン証券取引所の休業日の前営業日

ロンドンの銀行の休業日の前営業日

受益者の解約請求に係る受益権の口数の減少は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されます。

解約単位

販売会社が定める単位

解約価額

解約請求受付日の翌々営業日の基準価額

信託財産留保額

ありません。

解約価額の算出頻度

原則として、委託会社の営業日に計算されます。

解約価額の照会方法

解約価額は、販売会社にてご確認ください。

なお、下記においてもご照会いただけます。

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00）

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

支払開始日

解約代金は、原則として解約請求受付日から起算して7営業日目から販売会社において支払います。

解約請求受付時間

解約の請求は、原則として販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社所定の方法で行われます。解約請求が行われ、かつ当該換金請求に係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。当該時刻を過ぎての請求に関しては販売会社にご確認ください。

解約請求受付の中止および取消し

委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情（投資対象証券の換金の制限等）があるときは、解約請求の受付を中止することおよびすでに受け付けた解約請求を取り消すことがあります。その場合には、受益者は、当該受付中止以前に行った当日の解約請求を撤回できます。ただし、受益者がその解約請求を撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に解約請求を受け付けたものとして扱います。

また、市況動向等により、大口の解約請求に制限を設ける場合があります。

換金（解約）手続等の詳細に関しては販売会社にご確認ください。

<訂正後>

解約の受付

原則として、いつでも解約の請求ができます。

ただし、以下の日は解約の請求ができません。

ニューヨーク証券取引所の休業日の前営業日

ニューヨークの銀行の休業日の前営業日

ロンドン証券取引所の休業日の前営業日

ロンドンの銀行の休業日の前営業日

受益者の解約請求に係る受益権の口数の減少は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されます。

解約単位

販売会社が定める単位

解約価額

解約請求受付日の翌々営業日の基準価額

信託財産留保額

ありません。

解約価額の算出頻度

原則として、委託会社の営業日に計算されます。

解約価額の照会方法

解約価額は、販売会社にてご確認ください。

なお、下記においてもご照会いただけます。

三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00）

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

支払開始日

解約代金は、原則として解約請求受付日から起算して7営業日目から販売会社において支払います。

解約請求受付時間

解約の請求は、原則として販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社所定の方法で行われます。解約請求が行われ、かつ当該換金請求に係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。当該時刻を過ぎての請求に関しては販売会社にご確認ください。

解約請求受付の中止および取消し

委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情（投資対象証券の換金の制限等）があるときは、解約請求の受付を中止することおよびすでに受け付けた解約請求を取り消すことがあります。その場合には、受益者は、当該受付中止以前に行った当日の解約請求を撤回できます。ただし、受益者がその解約請求を撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に解約請求を受け付けたものとしします。

また、市況動向等により、大口の解約請求に制限を設ける場合があります。

換金（解約）手続等の詳細に関しては販売会社にご確認ください。

3【資産管理等の概要】

（１）【資産の評価】

<訂正前>

基準価額の算出方法

基準価額＝信託財産の純資産総額÷受益権総口数

なお、便宜上1万口あたりに換算した価額で表示することがあります。

「信託財産の純資産総額」とは、信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価または一部償却原価法により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額をいいます。

（資産の評価方法）

・株式／上場投資信託証券／不動産投資信託証券

原則として、金融商品取引所における計算日の最終相場（外国で取引されているものについては、原則として、金融商品取引所における計算時に知りうる直近の日の最終相場）で評価します。

・転換社債／転換社債型新株予約権付社債

原則として、金融商品取引所における計算日の最終相場、計算日に入手した日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）、金融商品取引業者・銀行等の提示する価額または価格情報会社の提供する価額のいずれかの価額（外国で取引されているものについては、原則として、計算日に入手した日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）、金融商品取引業者・銀行等の提示する価額または価格情報会社の提供する価額のいずれかの価額）で評価します。

・公社債等

原則として、計算日に入手した日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）、金融商品取引業者・銀行等の提示する価額（売気配相場を除く。）または価格情報会社の提供する価額のいずれかの価額で評価します。

残存期間１年以内の公社債等については、一部償却原価法による評価を適用することができます。

・マザーファンド

計算日における基準価額で評価します。

・投資信託証券（上場投資信託証券／不動産投資信託証券を除く。）

原則として、計算日に知りうる直近の日の基準価額で評価します。

・外貨建資産

原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円換算します。

・外国為替予約取引

原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値により評価します。

・市場デリバティブ取引

原則として、金融商品取引所が発表する計算日の清算値段等で評価します。

基準価額の算出頻度

原則として、委託会社の営業日に計算されます。

基準価額の照会方法

基準価額は、販売会社にてご確認いただけます。

なお、下記においてもご照会いただけます。

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00）

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

<訂正後>

基準価額の算出方法

基準価額＝信託財産の純資産総額÷受益権総口数

なお、便宜上1万口あたりに換算した価額で表示することがあります。

「信託財産の純資産総額」とは、信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価または一部償却原価法により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額をいいます。

（資産の評価方法）

・株式／上場投資信託証券／不動産投資信託証券

原則として、金融商品取引所における計算日の最終相場（外国で取引されているものについては、原則として、金融商品取引所における計算時に知りうる直近の日の最終相場）で評価します。

・転換社債／転換社債型新株予約権付社債

原則として、金融商品取引所における計算日の最終相場、計算日に入手した日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）、金融商品取引業者・銀行等の提示する価額または価格情報会社の提供する価額のいずれかの価額（外国で取引されているものについては、原則として、計算日に入手した日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）、金融商品取引業者・銀行等の提示する価額または価格情報会社の提供する価額のいずれかの価額）で評価します。

・公社債等

原則として、計算日に入手した日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）、金融商品取引業者・銀行等の提示する価額（売気配相場を除く。）または価格情報会社の提供する価額のいずれかの価額で評価します。

残存期間1年以内の公社債等については、一部償却原価法による評価を適用することができます。

・マザーファンド

計算日における基準価額で評価します。

・投資信託証券（上場投資信託証券／不動産投資信託証券を除く。）

原則として、計算日に知りうる直近の日の基準価額で評価します。

・外貨建資産

原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円換算します。

・外国為替予約取引

原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値により評価します。

・市場デリバティブ取引

原則として、金融商品取引所が発表する計算日の清算値段等で評価します。

基準価額の算出頻度

原則として、委託会社の営業日に計算されます。

基準価額の照会方法

基準価額は、販売会社にてご確認いただけます。

なお、下記においてもご照会いただけます。

三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00）

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

第3【ファンドの経理状況】

- 1 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）ならびに同規則第38条の3および第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- 2 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間計算期間（2023年2月7日から2023年8月6日まで）の中間財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により中間監査を受けております。

【中間財務諸表】

【国内株式セレクション（ラップ向け）】

（1）【中間貸借対照表】

	（単位：円）	
	第6期 [2023年 2月 6日現在]	第7期中間計算期間末 [2023年 8月 6日現在]
資産の部		
流動資産		
金銭信託	-	35,769,438
コール・ローン	875,122,851	979,337,710
親投資信託受益証券	25,705,575,809	34,210,739,771
流動資産合計	26,580,698,660	35,225,846,919
資産合計	26,580,698,660	35,225,846,919
負債の部		
流動負債		
未払解約金	28,761,437	95,874,835
未払受託者報酬	5,378,074	6,751,003
未払委託者報酬	51,091,650	64,134,532
未払利息	493	7,189
その他未払費用	416,737	523,144
流動負債合計	85,648,391	167,290,703
負債合計	85,648,391	167,290,703
純資産の部		
元本等		
元本	19,216,990,964	22,195,155,442
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	7,278,059,305	12,863,400,774
（分配準備積立金）	2,469,151,280	2,159,598,546
元本等合計	26,495,050,269	35,058,556,216
純資産合計	26,495,050,269	35,058,556,216
負債純資産合計	26,580,698,660	35,225,846,919

（2）【中間損益及び剰余金計算書】

	（単位：円）	
	第6期中間計算期間 自 2022年 2月 8日 至 2022年 8月 7日	第7期中間計算期間 自 2023年 2月 7日 至 2023年 8月 6日
営業収益		
受取利息	353	2,544

	第6期中間計算期間 自 2022年 2月 8日 至 2022年 8月 7日	第7期中間計算期間 自 2023年 2月 7日 至 2023年 8月 6日
有価証券売買等損益	669,695,871	4,277,820,184
営業収益合計	669,696,224	4,277,822,728
営業費用		
支払利息	37,301	202,205
受託者報酬	3,907,791	6,751,003
委託者報酬	37,123,936	64,134,532
その他費用	302,797	523,144
営業費用合計	41,371,825	71,610,884
営業利益又は営業損失（ ）	628,324,399	4,206,211,844
経常利益又は経常損失（ ）	628,324,399	4,206,211,844
中間純利益又は中間純損失（ ）	628,324,399	4,206,211,844
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	7,335,537	401,647,576
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	3,653,192,614	7,278,059,305
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,633,880,586	2,944,788,678
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,633,880,586	2,944,788,678
剰余金減少額又は欠損金増加額	280,366,727	1,164,011,477
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	280,366,727	1,164,011,477
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	5,642,366,409	12,863,400,774

（３）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１．有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
２．その他中間財務諸表作成のための重要な事項	ファンドの計算期間 当ファンドは、原則として毎年2月5日を計算期間の末日としておりますが、前計算期間においては当該日が休業日のため、当中間計算期間は2023年 2月 7日から2023年 8月 6日までとなっております。

（中間貸借対照表に関する注記）

	第6期 [2023年 2月 6日現在]	第7期中間計算期間末 [2023年 8月 6日現在]
１．期首元本額	12,005,271,528円	19,216,990,964円
期中追加設定元本額	9,958,697,693円	5,908,696,996円
期中一部解約元本額	2,746,978,257円	2,930,532,518円
２．受益権の総数	19,216,990,964口	22,195,155,442口

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第6期中間計算期間 自 2022年 2月 8日 至 2022年 8月 7日	第7期中間計算期間 自 2023年 2月 7日 至 2023年 8月 6日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	第6期 [2023年 2月 6日現在]	第7期中間計算期間末 [2023年 8月 6日現在]
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありせん。	同左
2. 時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	（１）有価証券 同左 （２）デリバティブ取引 同左 （３）上記以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	第6期 [2023年 2月 6日現在]	第7期中間計算期間末 [2023年 8月 6日現在]
1口当たり純資産額	1.3787円	1.5796円
(1万口当たり純資産額)	(13,787円)	(15,796円)

（参考）

当ファンドの主要投資対象の状況は以下の通りです。

なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

ＴＯＰＩＸマザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

[2023年 8月 6日現在]	
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	98,129,253,938
株式	1,083,630,775,594
派生商品評価勘定	16,390,350
未収配当金	1,493,005,810
未収利息	3,578,050
前払金	55,207,000
その他未収収益	15,408,277
差入委託証拠金	274,500,000
流動資産合計	1,183,618,119,019
資産合計	1,183,618,119,019
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	52,104,400
未払金	4,518,917,345
未払解約金	762,041,377
未払利息	240,161
受入担保金	90,573,879,712
流動負債合計	95,907,182,995
負債合計	95,907,182,995
純資産の部	
元本等	
元本	398,370,586,611
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	689,340,349,413
元本等合計	1,087,710,936,024
純資産合計	1,087,710,936,024
負債純資産合計	1,183,618,119,019

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。 新株予約権証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。

（貸借対照表に関する注記）

	[2023年 8月 6日現在]
1. 期首	2023年 2月 7日
期首元本額	367,617,363,099円
期中追加設定元本額	112,591,170,838円
期中一部解約元本額	81,837,947,326円
元本の内訳	
三菱ＵＦＪ トピックスインデックスオープン	6,742,325,382円
三菱ＵＦＪ ライフセレクトファンド（安定型）	843,432,644円
三菱ＵＦＪ ライフセレクトファンド（安定成長型）	3,676,090,605円
三菱ＵＦＪ ライフセレクトファンド（成長型）	3,504,089,088円
三菱ＵＦＪ トピックスオープン（確定拠出年金）	3,425,433,154円
三菱ＵＦＪ プライムバランス（安定型）（確定拠出年金）	6,553,815,094円
三菱ＵＦＪ プライムバランス（安定成長型）（確定拠出年金）	35,943,545,469円
三菱ＵＦＪ プライムバランス（成長型）（確定拠出年金）	41,429,313,166円
三菱ＵＦＪ ６資産バランスファンド（２ヵ月分配型）	97,277,359円
三菱ＵＦＪ ６資産バランスファンド（成長型）	267,645,498円
ファンド・マネジャー（国内株式）	621,456,590円
eMAXIS TOPIXインデックス	7,049,104,934円
eMAXIS バランス（８資産均等型）	2,119,971,575円
eMAXIS バランス（波乗り型）	70,613,893円
三菱ＵＦＪ プライムバランス（８資産）（確定拠出年金）	2,765,165,049円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤー・ファンド２０３０（確定拠出年金）	936,678,371円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤー・ファンド２０４０（確定拠出年金）	1,137,490,726円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤー・ファンド２０５０（確定拠出年金）	993,116,854円
eMAXIS Slim 国内株式（TOPIX）	30,454,241,953円
国内株式セレクション（ラップ向け）	4,379,605,878円
eMAXIS Slim バランス（８資産均等型）	9,708,052,266円
つみたて日本株式（TOPIX）	7,767,964,274円
つみたて８資産均等バランス	4,674,738,979円
つみたて４資産均等バランス	1,607,500,527円
eMAXIS マイマネージャー １９７０ｓ	2,529,224円
eMAXIS マイマネージャー １９８０ｓ	4,245,987円

	[2023年 8月 6日現在]
eMAXIS マイマネージャー 1990s	7,479,730円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤー・ファンド2035（確定拠出年金）	762,422,011円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤー・ファンド2045（確定拠出年金）	884,057,276円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤー・ファンド2055（確定拠出年金）	578,523,808円
三菱ＵＦＪ ＤＣ年金バランス（株式15）	489,126,326円
三菱ＵＦＪ ＤＣ年金バランス（株式40）	1,703,298,454円
三菱ＵＦＪ ＤＣ年金バランス（株式65）	3,593,135,081円
eMAXIS Slim 全世界株式（3地域均等型）	1,014,161,998円
三菱ＵＦＪ ＤＣ年金インデックス（国内株式）	3,357,592,688円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤー・ファンド2060（確定拠出年金）	504,251,319円
三菱ＵＦＪ ＤＣ年金バランス（株式25）	149,127,636円
国内株式インデックス・オープン（ラップ向け）	14,807,563,589円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤー・ファンド2065（確定拠出年金）	215,064,225円
ラップ向けインデックスf 国内株式	3,625,779,072円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（保守型）	126,185,191円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（標準型）	1,684,351,490円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（積極型）	1,001,819,262円
三菱ＵＦＪ ＤＣ年金バランス（株式80）	23,319,420円
ダイナミックアロケーションファンド（ラップ向け）	8,631,879,094円
ラップ向けダイナミックアロケーションファンド	115,548,313円
ラップ向けアクティブアロケーションファンド	16,930,781円
アクティブアロケーションファンド（ラップ向け）	38,820,483円
三菱ＵＦＪ バランス・イノベーション（株式抑制型）	1,058,465,079円
三菱ＵＦＪ バランス・イノベーション（株式重視型）	2,461,250,178円
三菱ＵＦＪ バランス・イノベーション（新興国投資型）	467,242,807円
三菱ＵＦＪ ＤＣバランス・イノベーション（KAKUSHIN）	1,133,073,208円
三菱ＵＦＪ バランス・イノベーション（債券重視型）	416,531,722円
三菱ＵＦＪ アドバンスト・バランス（安定型）	19,645,360円
三菱ＵＦＪ アドバンスト・バランス（安定成長型）	120,038,676円
eMAXIS バランス（4資産均等型）	666,328,348円
eMAXIS 最適化バランス（マイゴールキーパー）	135,498,699円
eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）	159,867,582円
eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	587,917,850円
eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）	481,451,679円
eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	945,588,642円
三菱ＵＦＪ トピックスオープン	971,385,969円
三菱ＵＦＪ ＤＣトピックスオープン	7,965,688,676円
三菱ＵＦＪ トピックスオープンVA（適格機関投資家限定）	55,527,304円

	[2023年 8月 6日現在]
三菱ＵＦＪ トピックスインデックスファンドＶＡ（適格機関投資家限定）	4,959,778,386円
三菱ＵＦＪ ライフセレクトファンド（安定成長型）ＶＡ（適格機関投資家限定）	10,918円
三菱ＵＦＪ バランスファンド４５ＶＡ（適格機関投資家限定）	7,912,198円
三菱ＵＦＪ バランスファンド４０ＶＡ（適格機関投資家限定）	4,371,068,368円
三菱ＵＦＪ バランスファンドＶＡ ２０型（適格機関投資家限定）	82,574,561円
三菱ＵＦＪ バランスファンドＶＡ ４０型（適格機関投資家限定）	1,428,032,447円
MUAM 日本株式インデックスファンド（適格機関投資家限定）	42,556,902,239円
三菱ＵＦＪ バランスファンドＶＡ ５０型（適格機関投資家限定）	220,014,019円
三菱ＵＦＪ バランスファンド５５ＶＡ（適格機関投資家限定）	234,038円
三菱ＵＦＪ バランスファンドＶＡ ３０型（適格機関投資家限定）	138,771円
三菱ＵＦＪ バランスファンド５０ＶＡ（適格機関投資家限定）	227,118,472円
三菱ＵＦＪ バランスファンド２０ＶＡ（適格機関投資家限定）	406,742,378円
MUAM インデックスファンドＴＯＰＩＸｉ（適格機関投資家限定）	4,513,796,479円
MUKAM バランス・イノベーション（株式抑制型）（適格機関投資家転売制限付）	3,005,167,851円
MUKAM バランス・イノベーション（リスク抑制型）（適格機関投資家転売制限付）	934,960,058円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション（適格機関投資家転売制限付）	465,610,105円
世界８資産バランスファンドＶＬ（適格機関投資家限定）	82,379,754円
MUKAM 下方リスク抑制型バランスファンド（適格機関投資家限定）	3,727,723,476円
MUKAM バランス・イノベーション（債券重視型）（適格機関投資家転売制限付）	146,953,927円
MUKAM 日本株式インデックスファンド２（適格機関投資家限定）	3,026,709,253円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション２（適格機関投資家限定）	338,542,601円
MUKAM 下方リスク抑制型ダイナミックアロケーションファンド（適格機関投資家限定）	16,687,264,139円
MUKAM バランス・イノベーション（リスク抑制型）２（適格機関投資家転売制限付）	80,503,195円
マルチアセット運用戦略ファンド（適格機関投資家限定）	189,746円
日米コアバランス（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家限定）	108,783,442円
日本株式インデックスファンドＳ	1,683,023,420円
MUKAM アセットアロケーションファンド２０２０－０７（適格機関投資家限定）	35,980,732円
MUKAM 米国国債プラス日本株式ファンド２０２０－０７（適格機関投資家限定）	97,295,626円

	[2023年 8月 6日現在]
MUKAM アセットアロケーションファンド2020-09（適格機関投資家限定）	35,434,968円
MUKAM アセットアロケーションファンド2020-11（適格機関投資家限定）	35,501,352円
MUKAM アセットアロケーションファンド2021-01（適格機関投資家限定）	35,160,631円
MUKAM アセットアロケーションファンド2021-03（適格機関投資家限定）	35,822,253円
MUKAM アセットアロケーションファンド2021-05（適格機関投資家限定）	35,950,680円
MUKAM 日米コアバランス 2021-07（適格機関投資家限定）	291,836,153円
MUKAM アセットアロケーションファンド2021-07（適格機関投資家限定）	34,885,307円
MUKAM アセットアロケーションファンド2021-09（適格機関投資家限定）	34,844,004円
MUKAM アセットアロケーションファンド2021-11（適格機関投資家限定）	35,768,349円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-01（適格機関投資家限定）	35,818,860円
MUKAM 日米コアバランス（除く米国株）2022-03（適格機関投資家限定）	657,507,232円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-03（適格機関投資家限定）	40,180,532円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-05（適格機関投資家限定）	39,815,667円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-07（適格機関投資家限定）	40,598,807円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-09（適格機関投資家限定）	40,095,797円
MUKAM アセットアロケーションファンド2022-11（適格機関投資家限定）	34,833,616円
MUKAM アセットアロケーションファンド2023-01（適格機関投資家限定）	39,980,785円
MUKAM アセットアロケーションファンド2023-03（適格機関投資家限定）	34,841,898円
MUKAM アセットアロケーションファンド2023-05（適格機関投資家限定）	35,903,993円
三菱ＵＦＪ TOPIX・ファンド	5,084,669,759円
インデックス・ライフ・バランスファンド（安定型）VA	2,937,639円
インデックス・ライフ・バランスファンド（安定成長型）VA	7,549,183円
インデックス・ライフ・バランスファンド（成長型）VA	1,511,634円
インデックス・ライフ・バランスファンド（積極型）VA	6,206,364円
三菱ＵＦＪ TOPIX・ファンドVA1	532,429,798円
三菱ＵＦＪ TOPIX・ファンドVA	94,778,523円
三菱ＵＦＪ バランスVA30D（適格機関投資家限定）	3,228,603円

	[2023年 8月 6日現在]
三菱ＵＦＪ バランスＶＡ６０Ｄ（適格機関投資家限定）	30,288,905円
三菱ＵＦＪ バランスＶＡ３０Ｇ（適格機関投資家限定）	1,536,569円
三菱ＵＦＪ バランスＶＡ６０Ｇ（適格機関投資家限定）	20,768,474円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ＴＯＰＩＸ・ファンド	1,555,182,904円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>インデックス・ライフ・バランス ファンド（安定型）	355,552,417円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>インデックス・ライフ・バランス ファンド（安定成長型）	1,515,672,239円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>インデックス・ライフ・バランス ファンド（成長型）	1,430,620,938円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>インデックス・ライフ・バランス ファンド（積極型）	1,333,675,051円
三菱ＵＦＪ ＤＣ国内株式インデックスファンド	57,872,402,563円
合計	398,370,586,611円
２．貸付有価証券 貸借取引契約により以下の通り有価証券の貸付を行っております。 株式	85,181,826,110円
３．受益権の総数	398,370,586,611口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[2023年 8月 6日現在]
１．貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
２．時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
３．金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

株式関連

〔2023年 8月 6日現在〕

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	7,552,542,000	—	7,517,010,000	35,532,000
合計		7,552,542,000	—	7,517,010,000	35,532,000

（注）時価の算定方法

- 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

（１口当たり情報）

	〔2023年 8月 6日現在〕
1口当たり純資産額	2.7304円
(1万口当たり純資産額)	(27,304円)

ＪＰＸ日経４００インデックスマザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

〔2023年 8月 6日現在〕

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	374,121,459
株式	7,815,215,260
派生商品評価勘定	591,310
未収配当金	11,180,486
前払金	2,082,872
差入委託証拠金	8,938,000
流動資産合計	8,212,129,387
資産合計	8,212,129,387
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	1,822,362
未払金	110,810,898
未払解約金	34
未払利息	915
流動負債合計	112,634,209
負債合計	112,634,209
純資産の部	
元本等	

[2023年 8月 6日現在]

元本	3,498,947,666
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	4,600,547,512
元本等合計	8,099,495,178
純資産合計	8,099,495,178
負債純資産合計	8,212,129,387

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。

（貸借対照表に関する注記）

	[2023年 8月 6日現在]
1. 期首	2023年 2月 7日
期首元本額	4,089,623,334円
期中追加設定元本額	1,224,279,462円
期中一部解約元本額	1,814,955,130円
元本の内訳	
国際 J P X日経インデックス400オープン（適格機関投資家専用）	822,992円
e M A X I S J P X日経400インデックス	3,038,848,807円
国内株式セレクション（ラップ向け）	442,308,763円
三菱ＵＦＪ アドバンスト・バランス（安定型）	3,920,141円
三菱ＵＦＪ アドバンスト・バランス（安定成長型）	13,046,963円
合計	3,498,947,666円
2. 受益権の総数	3,498,947,666口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[2023年 8月 6日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。

区分	[2023年 8月 6日現在]
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	(2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、(デリバティブ取引に関する注記) に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

株式関連

[2023年 8月 6日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	284,598,872	—	283,383,000	1,215,872
合計		284,598,872	—	283,383,000	1,215,872

（注）時価の算定方法

- 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

（ 1 口当たり情報 ）

	[2023年 8月 6日現在]
1口当たり純資産額	2,3148円
(1万口当たり純資産額)	(23,148円)

日本株インカム・マザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

〔2023年 8月 6日現在〕

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	110,062,961
株式	10,994,493,320
投資証券	72,427,000
未収入金	37,897,936
未収配当金	11,959,997
流動資産合計	11,226,841,214
資産合計	11,226,841,214
負債の部	
流動負債	
未払金	35,434,931
未払解約金	5,440,780
未払利息	269
流動負債合計	40,875,980
負債合計	40,875,980
純資産の部	
元本等	
元本	3,492,318,436
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	7,693,646,798
元本等合計	11,185,965,234
純資産合計	11,185,965,234
負債純資産合計	11,226,841,214

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。 投資証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
--------------------	---

（貸借対照表に関する注記）

	〔2023年 8月 6日現在〕
1. 期首	2023年 2月 7日
期首元本額	3,407,853,052円
期中追加設定元本額	342,353,282円
期中一部解約元本額	257,887,898円
元本の内訳	
三菱ＵＦＪ 好配当日本株ファンド（２ヵ月決算型）	1,817,260,591円
国内株式セレクション（ラップ向け）	1,621,132,378円
三菱ＵＦＪ アドバンスト・バランス（安定型）	5,753,057円
三菱ＵＦＪ アドバンスト・バランス（安定成長型）	48,172,410円
合計	3,492,318,436円
2. 受益権の総数	3,492,318,436口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[2023年 8月 6日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	[2023年 8月 6日現在]
1口当たり純資産額	3,2030円
(1万口当たり純資産額)	(32,030円)

J A P A N クオリティ１５０インデックスマザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

[2023年 8月 6日現在]

資産の部

[2023年 8月 6日現在]

流動資産	
コール・ローン	64,803,411
株式	4,372,165,500
派生商品評価勘定	109,450
未収配当金	8,382,778
前払金	325,000
差入委託証拠金	2,745,000
流動資産合計	4,448,531,139
資産合計	4,448,531,139
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	316,100
未払金	7,060,942
未払利息	158
流動負債合計	7,377,200
負債合計	7,377,200
純資産の部	
元本等	
元本	2,383,632,933
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	2,057,521,006
元本等合計	4,441,153,939
純資産合計	4,441,153,939
負債純資産合計	4,448,531,139

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。

（貸借対照表に関する注記）

	[2023年 8月 6日現在]
1. 期首	2023年 2月 7日
期首元本額	2,829,226,918円
期中追加設定元本額	246,511,937円
期中一部解約元本額	692,105,922円
元本の内訳	
国内株式セレクション（ラップ向け）	728,359,904円
三菱ＵＦＪ アドバンスト・バランス（安定型）	2,841,691円
三菱ＵＦＪ アドバンスト・バランス（安定成長型）	18,880,316円
eMAXIS JAPAN クオリティ150インデックス	1,055,118,980円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション（適格機関投資家転売制限付）	353,794,483円

	[2023年 8月 6日現在]
M U K A M スマート・クオリティ・セレクション２（適格機関投資家限定）	224,637,559円
合計	2,383,632,933円
２．受益権の総数	2,383,632,933口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[2023年 8月 6日現在]
１．貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
２．時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
３．金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

株式関連

[2023年 8月 6日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	68,335,000	—	68,130,000	205,000
合計		68,335,000	—	68,130,000	205,000

（注）時価の算定方法

１ 先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

２ 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

３ 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

（１口当たり情報）

	[2023年 8月 6日現在]
1口当たり純資産額	1.8632円
(1万口当たり純資産額)	(18,632円)

日本・小型株・ファンド・マザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

[2023年 8月 6日現在]

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	213,481,845
株式	11,054,614,600
未収配当金	12,445,600
流動資産合計	11,280,542,045
資産合計	11,280,542,045
負債の部	
流動負債	
未払解約金	1,583,140
未払利息	522
流動負債合計	1,583,662
負債合計	1,583,662
純資産の部	
元本等	
元本	1,324,231,909
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	9,954,726,474
元本等合計	11,278,958,383
純資産合計	11,278,958,383
負債純資産合計	11,280,542,045

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１．有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
-------------------	---

（貸借対照表に関する注記）

	[2023年 8月 6日現在]
1. 期首	2023年 2月 7日
期首元本額	1,328,166,563円
期中追加設定元本額	101,623,779円
期中一部解約元本額	105,558,433円
元本の内訳	
三菱ＵＦＪ ジャパン・アクティブ・プラス	33,264,215円
国内株式セレクション（ラップ向け）	279,202,345円
三菱ＵＦＪ アドバンスト・バランス（安定型）	989,207円
三菱ＵＦＪ アドバンスト・バランス（安定成長型）	6,396,947円
日本・小型株・ファンド	225,191,082円
日本株スタイル・ミックス・ファンド	23,968,278円
三菱ＵＦＪ 日本株スタイル・ミックス・ファンドＦ（適格機関投資家限定）	3,247,089円
三菱ＵＦＪ国際 日本・小型株・ファンド（適格機関投資家用）	218,211,276円
<ＤＣ>日本株スタイル・ミックス・ファンド	533,761,470円
合計	1,324,231,909円
2. 受益権の総数	1,324,231,909口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[2023年 8月 6日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	[2023年 8月 6日現在]
1口当たり純資産額	8.5174円
(1万口当たり純資産額)	(85,174円)

日本株式最小分散インデックスマザーファンド

貸借対照表

(単位：円)	
[2023年 8月 6日現在]	
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	121,429,729
株式	12,639,271,930
派生商品評価勘定	3,916,150
未収入金	310,456,626
未収配当金	30,024,000
差入委託証拠金	6,405,000
流動資産合計	13,111,503,435
資産合計	13,111,503,435
負債の部	
流動負債	
前受金	3,640,000
未払解約金	9,800,912
未払利息	297
流動負債合計	13,441,209
負債合計	13,441,209
純資産の部	
元本等	
元本	7,709,783,051
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	5,388,279,175
元本等合計	13,098,062,226
純資産合計	13,098,062,226
負債純資産合計	13,111,503,435

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１．有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
２．デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。

（貸借対照表に関する注記）

	[2023年 8月 6日現在]
1. 期首	2023年 2月 7日
期首元本額	8,601,231,498円
期中追加設定元本額	225,942,172円
期中一部解約元本額	1,117,390,619円
元本の内訳	
国内株式セレクション（ラップ向け）	2,016,818,619円
三菱ＵＦＪ アドバンスト・バランス（安定型）	7,795,612円
三菱ＵＦＪ アドバンスト・バランス（安定成長型）	53,484,036円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション（適格機関投資家転売制限付）	385,386,916円
日本株式最小分散インデックスファンド（適格機関投資家限定）	4,996,192,263円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション 2（適格機関投資家限定）	250,105,605円
合計	7,709,783,051円
2. 受益権の総数	7,709,783,051口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[2023年 8月 6日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

株式関連

[2023年 8月 6日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	155,050,000	—	158,970,000	3,920,000
合計		155,050,000	—	158,970,000	3,920,000

（注）時価の算定方法

- 1 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 2 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 3 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

（１口当たり情報）

	[2023年 8月 6日現在]
1口当たり純資産額	1.6989円
(1万口当たり純資産額)	(16,989円)

ジャパン・アクティブ・マザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

[2023年 8月 6日現在]

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	54,119,271
株式	4,001,234,140
未収配当金	2,573,800
流動資産合計	4,057,927,211
資産合計	4,057,927,211
負債の部	
流動負債	
未払解約金	98,472
未払利息	132
流動負債合計	98,604
負債合計	98,604
純資産の部	
元本等	
元本	799,337,958

[2023年 8月 6日現在]

剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	3,258,490,649
元本等合計	4,057,828,607
純資産合計	4,057,828,607
負債純資産合計	4,057,927,211

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
--------------------	---

（貸借対照表に関する注記）

	[2023年 8月 6日現在]
1. 期首	2023年 2月 7日
期首元本額	825,667,082円
期中追加設定元本額	56,588,450円
期中一部解約元本額	82,917,574円
元本の内訳	
三菱ＵＦＪ ジャパン・アクティブ・プラス	244,362,638円
国内株式セレクション（ラップ向け）	336,405,356円
三菱ＵＦＪ アドバンスト・バランス（安定型）	1,526,256円
三菱ＵＦＪ アドバンスト・バランス（安定成長型）	8,569,736円
世界ソブリン債券・日本株ファンド（毎月分配型）	194,164,748円
MUAM ジャパン・アクティブ・ニュートラル（適格機関投資家限定）	14,309,224円
合計	799,337,958円
2. 受益権の総数	799,337,958口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[2023年 8月 6日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引

区分	[2023年 8月 6日現在]
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（ 1 口当たり情報 ）

	[2023年 8月 6日現在]
1口当たり純資産額	5.0765円
(1万口当たり純資産額)	(50,765円)

日本株E S Gアクティブマザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

	[2023年 8月 6日現在]
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	70,762,966
株式	2,314,028,370
未収入金	10,010,027
未収配当金	2,923,200
流動資産合計	2,397,724,563
資産合計	2,397,724,563
負債の部	
流動負債	
未払金	10,963,137
未払解約金	1,112,120
未払利息	173
流動負債合計	12,075,430
負債合計	12,075,430
純資産の部	
元本等	

[2023年 8月 6日現在]

元本	1,193,018,553
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	1,192,630,580
元本等合計	2,385,649,133
純資産合計	2,385,649,133
負債純資産合計	2,397,724,563

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
--------------------	---

（貸借対照表に関する注記）

	[2023年 8月 6日現在]
1. 期首	2023年 2月 7日
期首元本額	1,192,130,562円
期中追加設定元本額	251,560,949円
期中一部解約元本額	250,672,958円
元本の内訳	
国内株式セレクション（ラップ向け）	861,863,218円
三菱ＵＦＪ ＤＣ日本株ＥＳＧアクティブファンド	285,648,336円
三菱ＵＦＪ ＤＣ世界ＥＳＧバランスファンド	20,858,623円
三菱ＵＦＪ アドバンスト・バランス（安定型）	3,159,947円
三菱ＵＦＪ アドバンスト・バランス（安定成長型）	21,488,429円
合計	1,193,018,553円
2. 受益権の総数	1,193,018,553口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[2023年 8月 6日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 （３）上記以外の金融商品

区分	[2023年 8月 6日現在]
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	[2023年 8月 6日現在]
1口当たり純資産額	1.9997円
(1万口当たり純資産額)	(19,997円)

ジャパンＥＳＧセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

	[2023年 8月 6日現在]
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	41,728,933
株式	3,280,664,350
投資証券	42,414,100
派生商品評価勘定	1,118,900
未収入金	3,867,130
未収配当金	4,136,351
差入委託証拠金	1,830,000
流動資産合計	3,375,759,764
資産合計	3,375,759,764
負債の部	
流動負債	
前受金	1,040,000
未払金	4,020,209
未払解約金	2,821,083
未払利息	102
流動負債合計	7,881,394
負債合計	7,881,394
純資産の部	

[2023年 8月 6日現在]

元本等	
元本	2,134,021,511
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	1,233,856,859
元本等合計	3,367,878,370
純資産合計	3,367,878,370
負債純資産合計	3,375,759,764

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。 投資証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。

（貸借対照表に関する注記）

	[2023年 8月 6日現在]
1. 期首	2023年 2月 7日
期首元本額	2,067,125,930円
期中追加設定元本額	332,131,131円
期中一部解約元本額	265,235,550円
元本の内訳	
国内株式セレクション（ラップ向け）	867,824,928円
e M A X I S ジャパン E S G セレクト・リーダーズインデックス	776,752,174円
三菱 U F J D C ジャパン E S G セレクト・リーダーズインデックス	459,703,427円
アドバンスト・バランス（ F O F s 用）（適格機関投資家限定）	4,316,630円
アドバンスト・バランス（ F O F s 用）（適格機関投資家限定）	25,424,352円
合計	2,134,021,511円
2. 受益権の総数	2,134,021,511口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[2023年 8月 6日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。

区分	[2023年 8月 6日現在]
2.時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

株式関連

[2023年 8月 6日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引				
	買建	44,300,000	—	45,420,000	1,120,000
	合計	44,300,000	—	45,420,000	1,120,000

（注）時価の算定方法

1 先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

3 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

（ 1 口当たり情報 ）

	[2023年 8月 6日現在]
1口当たり純資産額	1.5782円
(1万口当たり純資産額)	(15,782円)

クオリティ企業厳選投資日本株マザーファンド（ E S G ）

貸借対照表

（単位：円）

[2023年 8月 6日現在]

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	130,273,483
株式	4,813,532,270
未収入金	67,875,261
未収配当金	3,148,700
流動資産合計	5,014,829,714
資産合計	5,014,829,714
負債の部	
流動負債	
未払金	153,489,712
未払利息	318
流動負債合計	153,490,030
負債合計	153,490,030
純資産の部	
元本等	
元本	4,350,463,441
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	510,876,243
元本等合計	4,861,339,684
純資産合計	4,861,339,684
負債純資産合計	5,014,829,714

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
--------------------	---

（貸借対照表に関する注記）

	[2023年 8月 6日現在]
1. 期首	2023年 2月 7日
期首元本額	589,759,996円
期中追加設定元本額	3,867,793,614円
期中一部解約元本額	107,090,169円
元本の内訳	
国内株式セレクション（ラップ向け）	3,645,926,444円
クオリティ企業厳選投資日本株ファンド（ＥＳＧ）（適格機関投資家限定）	587,215,916円
アドバンスト・バランス（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家限定）	15,631,672円
アドバンスト・バランス（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家限定）	101,689,409円
合計	4,350,463,441円
2. 受益権の総数	4,350,463,441口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[2023年 8月 6日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2.時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	[2023年 8月 6日現在]
1口当たり純資産額	1.1174円
(1万口当たり純資産額)	(11,174円)

2【ファンドの現況】

【国内株式セレクション（ラップ向け）】

【純資産額計算書】

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産総額	36,442,064,088
負債総額	36,493,005
純資産総額（ - ）	36,405,571,083
発行済口数	22,477,731,547口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.6196
（10,000口当たり）	（16,196）

（参考）

ＴＯＰＩＸマザーファンド

純資産額計算書

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産総額	1,184,054,099,653
負債総額	61,577,947,049
純資産総額（ - ）	1,122,476,152,604
発行済口数	400,886,038,063口
1口当たり純資産価額（ / ）	2.8000
（10,000口当たり）	（28,000）

ＪＰＸ日経４００インデックスマザーファンド

純資産額計算書

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産総額	8,836,279,077
負債総額	475,137,081
純資産総額（ - ）	8,361,141,996
発行済口数	3,524,447,269口
1口当たり純資産価額（ / ）	2.3723
（10,000口当たり）	（23,723）

日本株インカム・マザーファンド

純資産額計算書

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産総額	11,532,670,554
負債総額	16,862,677
純資産総額（ - ）	11,515,807,877
発行済口数	3,460,858,236口
1口当たり純資産価額（ / ）	3.3274
（10,000口当たり）	（33,274）

J A P A N クオリティ１５０インデックスマザーファンド

純資産額計算書

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産総額	4,530,634,300
負債総額	10,445,319
純資産総額（ - ）	4,520,188,981
発行済口数	2,375,516,788口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.9028
（10,000口当たり）	（19,028）

日本・小型株・ファンド・マザーファンド

純資産額計算書

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産総額	11,628,876,454
負債総額	1,458,516
純資産総額（ - ）	11,627,417,938
発行済口数	1,329,918,418口
1口当たり純資産価額（ / ）	8.7430
（10,000口当たり）	（87,430）

日本株式最小分散インデックスマザーファンド

純資産額計算書

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産総額	13,247,130,702
負債総額	22,313,538
純資産総額（ - ）	13,224,817,164
発行済口数	7,505,808,460口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.7619
（10,000口当たり）	（17,619）

ジャパン・アクティブ・マザーファンド

純資産額計算書

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産総額	4,215,663,171
負債総額	35,371,231
純資産総額（ - ）	4,180,291,940
発行済口数	799,057,533口
1口当たり純資産価額（ / ）	5.2315
（10,000口当たり）	（52,315）

日本株ＥＳＧアクティブマザーファンド

純資産額計算書

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産総額	2,482,648,317
負債総額	1,273,289
純資産総額（ - ）	2,481,375,028
発行済口数	1,204,502,152口
1口当たり純資産価額（ / ）	2.0601
（10,000口当たり）	（20,601）

ジャパンＥＳＧセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド

純資産額計算書

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産総額	3,532,424,818
------	---------------

負債総額	21,759,024
純資産総額（ - ）	3,510,665,794
発行済口数	2,173,881,372口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.6149
（10,000口当たり）	（16,149）

クオリティ企業厳選投資日本株マザーファンド（ＥＳＧ）

純資産額計算書

2023年 8月31日現在

（単位：円）

資産総額	5,051,998,520
負債総額	39,703
純資産総額（ - ）	5,051,958,817
発行済口数	4,506,721,415口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.1210
（10,000口当たり）	（11,210）

第三部【委託会社等の情報】

第１【委託会社等の概況】

１【委託会社等の概況】

< 更新後 >

（１）資本金の額等

2023年10月1日現在、資本金は2,000百万円です。なお、発行可能株式総数は400,000株であり、211,581株を発行済です。最近５年間ににおける資本金の額の増減はありません。

（２）委託会社の機構

・会社の意思決定機構

業務執行の基本方針を決定し、取締役の職務の執行を監督する機関として、取締役会を設置します。取締役の選任は、総株主の議決権の３分の１以上を有する株主が出席する株主総会にてその議決権の過半数をもって行い、累積投票によらないものとします。また、取締役会で決定した基本方針に基づき、経営管理全般に関する執行方針その他重要な事項を協議・決定する機関として、経営会議を設置します。

・投資運用の意思決定機構

投資環境見通しの策定

投資環境会議において、国内外の経済・金融情報および各国証券市場等の調査・分析に基づいた投資環境見通しを策定します。

運用戦略の決定

運用戦略・管理委員会において、で策定された投資環境見通しに沿って運用戦略を決定します。

運用計画の決定

で決定された運用戦略に基づいて、各運用部はファンド毎の運用計画を決定します。

ポートフォリオの構築

各運用部の担当ファンドマネジャーは、運用部から独立したトレーディング部に売買実行の指示をします。トレーディング部は、事前のチェックを行ったうえで、最良執行をめざして売買の執行を行います。

運用部門による自律的な運用管理

運用部門は、投資行動がファンドコンセプトおよびファンド毎に定めた運用計画に沿っているかどうかの自律的なチェックを行い、運用部門内の管理担当部署は逸脱がある場合は速やかな是正を指示します。また、運用戦略・管理委員会を通じて運用状況のモニタリングを行い、運用部門内での自律的牽制により運用改善を図ります。

管理担当部署による運用管理

運用部から独立した管理担当部署は、（a）運用に関するパフォーマンス測定・分析、意図した運用成果が得られていない場合にはその原因の分析のほか、（b）リスク管理および法令・信託約款などの遵守状況等のモニタリングを実施します。この結果は、（a）についてはファンド管理委員会における審議を経て運用担当部・商品開発担当部にフィードバックされ、（b）についてはリスク管理委員会を通じて運用担当部にフィードバックされ、必要に応じて部署間連携の上で是正・改善の検討が行われます。

ファンドに関係する法人等の管理

受託会社等、ファンドの運営に関係する法人については、その業務に関する委託会社の管理担当部署が、体制、業務執行能力、信用力等のモニタリング・評価を実施します。この結果は、商品企画委員会等を通じて委託会社の経営陣に報告され、必要に応じて是正が指示されます。

運用・管理に関する監督

内部監査担当部署は、運用、管理等に関する委託会社の業務全般についてその健全性・適切性を担保するために、リスク管理、内部統制、ガバナンス・プロセスの適切性・有効性を検

証・評価します。その評価結果は問題点の改善方法の提言等も含めて委託会社の経営陣に報告される、内部監査態勢が構築されています。

ファンドの運用体制等は、今後変更される可能性があります。

2【事業の内容及び営業の概況】

< 更新後 >

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）等を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業および投資助言業務を行っています。

委託会社は2023年10月1日にエム・ユー投資顧問株式会社の有価証券運用事業を三菱ＵＦＪ国際投信株式会社へ統合し、商号を三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社に変更しました。

2023年 8月31日現在における三菱ＵＦＪ国際投信株式会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。（親投資信託を除きます。）

商品分類	本 数 (本)	純資産総額 (百万円)
追加型株式投資信託	862	26,940,171
追加型公社債投資信託	16	1,619,101
単位型株式投資信託	90	409,992
単位型公社債投資信託	49	100,867
合 計	1,017	29,070,130

なお、純資産総額の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して記載しておりますので、表中の個々の数字の合計と合計欄の数字とは一致しないことがあります。

（ご参考）2023年 8月31日現在におけるエム・ユー投資顧問株式会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。（親投資信託を除きます。）

商品分類	本 数 (本)	純資産総額 (百万円)
追加型株式投資信託	34	231,917
追加型公社債投資信託	0	0
単位型株式投資信託	11	28,014
単位型公社債投資信託	1	6,638
合 計	46	266,570

なお、純資産総額の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して記載しておりますので、表中の個々の数字の合計と合計欄の数字とは一致しないことがあります。

3【委託会社等の経理状況】

< 更新後 >

（１）財務諸表の作成方法について

委託会社である三菱ＵＦＪ国際投信株式会社（以下「当社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和38年大蔵省令第59号）」（以下「財務諸表等規則」という。）第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令（平成19年内閣府令第52号）」に基づき作成しております。

なお、財務諸表に掲載している金額については、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

（２）監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第38期事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

（１）【貸借対照表】

（単位：千円）

	第37期 (2022年3月31日現在)		第38期 (2023年3月31日現在)	
(資産の部)				
流動資産				
現金及び預金	2	51,593,362	2	51,733,041
有価証券		293,326		1,579,691
前払費用		645,109		770,747
未収入金		61,092		81,854
未収委託者報酬		15,750,264		16,753,855
未収収益	2	783,790	2	688,142
金銭の信託		8,401,300		10,400,000
その他		295,584		745,576
流動資産合計		77,823,830		82,752,908
固定資産				
有形固定資産				
建物	1	391,042	1	181,551
器具備品	1	1,079,023	1	730,357
土地		628,433		628,433
建設仮勘定		-		1,111,177
有形固定資産合計		2,098,499		2,651,520
無形固定資産				
電話加入権		15,822		15,822
ソフトウェア		4,381,293		4,183,644
ソフトウェア仮勘定		1,581,652		1,907,739
無形固定資産合計		5,978,768		6,107,206
投資その他の資産				
投資有価証券		16,803,642		12,022,365
関係会社株式		159,536		159,536

投資不動産	1	810,684	1	807,066
長期差入保証金		524,244		689,492
前払年金費用		189,708		118,832
繰延税金資産		982,406		1,675,132
その他		45,230		45,230
貸倒引当金		23,600		23,600
投資その他の資産合計		19,491,852		15,494,056
固定資産合計		27,569,120		24,252,782
資産合計		105,392,950		107,005,691

(単位：千円)

	第37期 (2022年3月31日現在)	第38期 (2023年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債		
預り金	565,222	507,559
未払金		
未払収益分配金	197,334	114,094
未払償還金	7,418	7,418
未払手数料	2 6,423,139	2 6,139,595
その他未払金	2 4,565,457	2 955,697
未払費用	2 4,328,968	2 5,778,896
未払消費税等	1,112,923	439,657
未払法人税等	769,692	2,375,281
賞与引当金	942,287	849,840
役員賞与引当金	149,028	154,872
その他	5,517	5,517
流動負債合計	19,066,990	17,328,431
固定負債		
長期未払金	10,800	-
退職給付引当金	1,246,300	1,333,882
役員退職慰労引当金	117,938	75,667
時効後支払損引当金	250,214	254,296
固定負債合計	1,625,252	1,663,846
負債合計	20,692,243	18,992,277
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	2,000,131	2,000,131
資本剰余金		
資本準備金	3,572,096	3,572,096
その他資本剰余金	41,160,616	41,160,616
資本剰余金合計	44,732,712	44,732,712
利益剰余金		
利益準備金	342,589	342,589
その他利益剰余金		
別途積立金	6,998,000	6,998,000
繰越利益剰余金	29,000,498	33,267,700
利益剰余金合計	36,341,088	40,608,289
株主資本合計	83,073,932	87,341,133

(単位：千円)

	第37期 (2022年3月31日現在)	第38期 (2023年3月31日現在)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,626,775	672,279
評価・換算差額等合計	1,626,775	672,279
純資産合計	84,700,707	88,013,413
負債純資産合計	105,392,950	107,005,691

(2) 【損益計算書】

(単位：千円)

	第37期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	79,977,953	84,121,445
投資顧問料	2,711,169	2,750,601
その他営業収益	13,459	10,412
営業収益合計	82,702,582	86,882,459
営業費用		
支払手数料	2 31,644,834	2 31,461,274
広告宣伝費	720,785	798,894
公告費	500	375
調査費		
調査費	2,430,158	2,849,042
委託調査費	14,557,009	19,236,505
事務委託費	1,450,062	1,751,807
営業雑経費		
通信費	138,868	113,480
印刷費	379,428	367,379
協会費	49,590	58,128
諸会費	17,729	18,447
事務機器関連費	2,172,978	2,238,382
その他営業雑経費	649	-
営業費用合計	53,562,596	58,893,717
一般管理費		
給料		
役員報酬	414,260	416,461
給料・手当	6,496,233	6,565,766
賞与引当金繰入	942,287	849,840
役員賞与引当金繰入	149,028	154,872
福利厚生費	1,282,310	1,279,885
交際費	4,874	8,942
旅費交通費	21,698	75,274

租税公課	430,233	403,955
不動産賃借料	724,961	719,707
退職給付費用	494,615	388,176
固定資産減価償却費	2,249,287	2,418,341
諸経費	379,054	444,313
一般管理費合計	13,588,846	13,725,534
営業利益	15,551,139	14,263,207

(単位：千円)

	第37期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業外収益		
受取配当金	243,133	47,353
受取利息	2 7,408	2 10,279
投資有価証券償還益	1,089,101	609,102
収益分配金等時効完成分	137,485	94,351
受取賃貸料	2 65,808	2 65,808
その他	36,211	36,894
営業外収益合計	1,579,148	863,788
営業外費用		
投資有価証券償還損	3,074	32,995
時効後支払損引当金繰入	16,548	31,951
事務過誤費	76,076	2,680
賃貸関連費用	15,780	14,262
その他	7,585	32,394
営業外費用合計	119,066	114,284
経常利益	17,011,221	15,012,711
特別利益		
投資有価証券売却益	605,706	387,113
特別利益合計	605,706	387,113
特別損失		
投資有価証券売却損	28,188	15,828
投資有価証券評価損	36,558	104,554
固定資産除却損	1 13,094	1 32,791
減損損失	-	3 315,350
特別損失合計	77,840	468,524
税引前当期純利益	17,539,087	14,931,300
法人税、住民税及び事業税	2 5,366,608	2 4,860,444
法人税等調整額	22,446	271,471
法人税等合計	5,389,054	4,588,973
当期純利益	12,150,032	10,342,327

(3) 【株主資本等変動計算書】

第37期（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712
会計方針の変更による累積的影響額				
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	—	—
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712

	利益剰余金				株主資本合計
	利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
別途 積立金		繰越利益 剰余金			
当期首残高	342,589	6,998,000	26,951,289	34,291,879	81,024,723
会計方針の変更による累積的影響額			475,687	475,687	475,687
会計方針の変更を反映した当期首残高	342,589	6,998,000	27,426,976	34,767,566	81,500,410
当期変動額					
剰余金の配当			10,576,511	10,576,511	10,576,511
当期純利益			12,150,032	12,150,032	12,150,032
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,573,521	1,573,521	1,573,521
当期末残高	342,589	6,998,000	29,000,498	36,341,088	83,073,932

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	2,301,606	2,301,606	83,326,329
会計方針の変更による累積的影響額			475,687
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,301,606	2,301,606	83,802,017
当期変動額			
剰余金の配当			10,576,511
当期純利益			12,150,032

株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	674,831	674,831	674,831
当期変動額合計	674,831	674,831	898,690
当期末残高	1,626,775	1,626,775	84,700,707

第38期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	—	—
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712

	利益剰余金				株主資本合計
	利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
別途 積立金		繰越利益 剰余金			
当期首残高	342,589	6,998,000	29,000,498	36,341,088	83,073,932
当期変動額					
剰余金の配当			6,075,125	6,075,125	6,075,125
当期純利益			10,342,327	10,342,327	10,342,327
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	4,267,201	4,267,201	4,267,201
当期末残高	342,589	6,998,000	33,267,700	40,608,289	87,341,133

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,626,775	1,626,775	84,700,707
当期変動額			
剰余金の配当			6,075,125
当期純利益			10,342,327
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	954,495	954,495	954,495
当期変動額合計	954,495	954,495	3,312,705
当期末残高	672,279	672,279	88,013,413

[注記事項]

（重要な会計方針）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

3. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産及び投資不動産

定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	5年～50年
器具備品	2年～20年
投資不動産	5年～47年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(6) 時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

6. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主要な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

(1) 委託者報酬

投資信託の信託約款に基づき信託財産の運用指図等を行っております。委託者報酬は、純資産総額に一定の報酬率を乗じて日々計算され、確定した報酬を投資信託によって主に年2回受領しております。当該報酬は投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。

(2) 投資顧問料

顧客との投資一任及び投資助言契約に基づき運用及び助言を行っております。投資顧問料は、純資産総額に一定の報酬率を乗じて計算され、確定した報酬を主に年4回受領しております。当該報酬は契約期間にわたり収益として認識しております。

7. その他財務諸表作成のための基礎となる事項

グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しております。

(会計方針の変更)

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、時価算定会計基準適用指針の適用による、財務諸表への影響はありません。

(貸借対照表関係)

1. 有形固定資産及び投資不動産の減価償却累計額

	第37期 (2022年3月31日現在)	第38期 (2023年3月31日現在)
建物	805,250千円	1,006,606千円
器具備品	2,054,366千円	1,985,072千円
投資不動産	157,995千円	163,978千円

2. 関係会社に対する主な資産・負債

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第37期 (2022年3月31日現在)	第38期 (2023年3月31日現在)
預金	43,782,913千円	40,165,058千円
未収収益	13,741千円	15,046千円
未払手数料	836,105千円	790,279千円
その他未払金	3,887,520千円	77,007千円
未払費用	337,847千円	277,358千円

(損益計算書関係)

1. 固定資産除却損の内訳

	第37期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
建物	2,599千円	1,047千円
器具備品	10,495千円	29,762千円
ソフトウェア	-	1,981千円
計	13,094千円	32,791千円

2. 関係会社に対する主な取引

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第37期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
支払手数料	5,153,589千円	4,893,312千円
受取利息	7,377千円	10,236千円
受取賃貸料	65,808千円	68,168千円
法人税、住民税及び事業税	4,062,765千円	3,947,200千円

3. 減損損失

当社は、以下のとおり減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	金額
東京都千代田区（本社）	ホームページ	ソフトウェア	315,350千円

当社は資産運用業の単一セグメントであるため、事業用資産に区別はなく、全社を1つのグルーピングとしております。

翌期において、ホームページのリニューアルを予定しており、現行のホームページについて将来の利用終了が見込まれるため帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、回収可能価額として使用価値を用いておりますが、割引率については使用見込期間が短いため考慮していません。

（株主資本等変動計算書関係）

第37期（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数（株）	当事業年度増加 株式数（株）	当事業年度減少 株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

2021年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	10,576,511千円
1株当たり配当額	49,988円
基準日	2021年3月31日
効力発生日	2021年6月29日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2022年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	6,075,125千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	28,713円
基準日	2022年3月31日
効力発生日	2022年6月29日

第38期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数（株）	当事業年度増加 株式数（株）	当事業年度減少 株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

2022年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	6,075,125千円
1株当たり配当額	28,713円
基準日	2022年3月31日
効力発生日	2022年6月29日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2023年6月28日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

配当金の総額	5,171,039千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	24,440円
基準日	2023年3月31日
効力発生日	2023年6月29日

(リース取引関係)

借主側

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

	第37期 (2022年3月31日現在)	第38期 (2023年3月31日現在)
1年内	709,808千円	962,809千円
1年超	414,054千円	1,532,728千円
合計	1,123,863千円	2,495,537千円

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

資金運用については銀行預金、金銭の信託（合同運用指定金銭信託）で運用し、金融機関からの資金調達は行っておりません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は主として投資信託であり、価格変動リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

内部管理規程に従って月次でリスク資本を認識し、経営会議に報告しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、市場価格のない株式等は、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

第37期(2022年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額（千円）	時価（千円）	差額（千円）
(1) 有価証券	293,326	293,326	-
(2) 金銭の信託	8,401,300	8,401,300	-
(3) 投資有価証券	16,772,282	16,772,282	-
資産計	25,466,909	25,466,909	-

(注1) 「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未払手数料」については短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注2) 市場価格のない株式等

非上場株式（前事業年度の貸借対照表計上額31,360千円）は、市場価格がないため、「(3) 投資有価証券」には含めておりません。また、関連会社株式（前事業年度の貸借対照表計上額159,536千円）は、市場価格がないため、記載しておりません。

(注3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。

(注4) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第37期(2022年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	51,593,362	-	-	-
金銭の信託	8,401,300	-	-	-
未収委託者報酬	15,750,264	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	293,326	6,911,464	3,695,585	-
合計	76,038,253	6,911,464	3,695,585	-

第38期(2023年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 有価証券	1,579,691	1,579,691	-
(2) 金銭の信託	10,400,000	10,400,000	-
(3) 投資有価証券	12,022,365	12,022,365	-
資産計	24,002,056	24,002,056	-

(注1) 「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未払手数料」については短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注2) 市場価格のない株式等

関連会社株式（当事業年度の貸借対照表計上額159,536千円）は、市場価格がないため、記載しておりません。

(注3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。

(注4) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第38期(2023年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	51,733,041	-	-	-
金銭の信託	10,400,000	-	-	-
未収委託者報酬	16,753,855	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	1,579,691	4,859,714	1,433,213	-
合計	80,466,587	4,859,714	1,433,213	-

3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価： 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価： 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価： 観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価
 時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、
 それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優
 先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債

第37期(2022年3月31日現在)

区分	時価（千円）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金銭の信託	-	8,401,300	-	8,401,300
資産計	-	8,401,300	-	8,401,300

財務諸表等規則附則（2021年9月24日内閣府令第9号）に基づく経過措置を適用した投資信託（貸借対照表計上額 有価証券 293,326千円、投資有価証券16,772,282千円）は、表には含めておりません。

（注）時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

金銭の信託

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しており、レベル2の時価に分類しております。

第38期(2023年3月31日現在)

区分	時価（千円）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券	-	1,579,691	-	1,579,691
金銭の信託	-	10,400,000	-	10,400,000
投資有価証券	1,794,704	10,227,661	-	12,022,365
資産計	1,794,704	22,207,352	-	24,002,056

（注）時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

有価証券及び投資有価証券

ETF（上場投資信託）は相場価格を用いて評価しております。ETFは活発な市場で取引されているため、レベル1の時価に分類しております。

ETF（上場投資信託）以外の投資信託は基準価額を用いて評価しております。基準価額は観察可能なインプットを用いて算出しているため、レベル2の時価に分類しております。

金銭の信託

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しており、レベル2の時価に分類しております。

（有価証券関係）

1. 子会社株式及び関連会社株式

第37期（2022年3月31日現在）及び第38期（2023年3月31日現在）

関連会社株式（貸借対照表計上額は159,536千円）は、市場価格がないため、記載しておりません。

2. その他有価証券

第37期(2022年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 （千円）	取得原価 （千円）	差額（千円）
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	19,193,250	16,560,340	2,632,910
	小計	19,193,250	16,560,340	2,632,910
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	6,273,658	6,561,836	288,177

	小計	6,273,658	6,561,836	288,177
合計		25,466,909	23,122,176	2,344,732

(注)「その他」には、貸借対照表の「金銭の信託」（貸借対照表計上額は8,401,300千円、取得原価は8,400,000千円）を含めております。

非上場株式（貸借対照表計上額は31,360千円）は、市場価格がないため、含めておりません。

第38期(2023年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	8,983,713	7,558,314	1,425,399
	小計	8,983,713	7,558,314	1,425,399
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	15,018,343	15,474,760	456,417
	小計	15,018,343	15,474,760	456,417
合計		24,002,056	23,033,074	968,982

(注)「その他」には、貸借対照表の「金銭の信託」（貸借対照表計上額は10,400,000千円、取得原価は10,400,000千円）を含めております。

3.売却したその他有価証券

第37期（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	4,164,921	605,706	28,188
合計	4,164,921	605,706	28,188

第38期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	17,240	-	14,120
債券	-	-	-
その他	1,551,405	387,113	1,708
合計	1,568,645	387,113	15,828

4.減損処理を行った有価証券

前事業年度において、有価証券について36,558千円（その他有価証券のその他36,558千円）減損処理を行っております。

当事業年度において、有価証券について104,554千円（その他有価証券のその他104,554千円）減損処理を行っております。

なお、減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合、及び30%以上50%未満下落し、回復可能性等の合理的反証がない場合に行っております。

（退職給付関係）

1.採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、確定給付企業年金制度（積立型制度）及び退職一時金制度（非積立型制度）を設けております。また確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けております。

2.確定給付制度

(1)退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	第37期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
退職給付債務の期首残高	3,729,235 千円	3,723,521 千円
勤務費用	198,457	196,190
利息費用	21,549	25,925
数理計算上の差異の発生額	46,069	186,130
退職給付の支払額	179,650	176,727
過去勤務費用の発生額	-	-
退職給付債務の期末残高	3,723,521	3,582,778

(2)年金資産の期首残高と期末残高の調整表

	第37期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
年金資産の期首残高	2,649,846 千円	2,583,927 千円
期待運用収益	47,588	46,453
数理計算上の差異の発生額	1,824	103,934
事業主からの拠出額	-	-
退職給付の支払額	115,331	100,694
年金資産の期末残高	2,583,927	2,425,752

(3)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

	第37期 (2022年3月31日現在)	第38期 (2023年3月31日現在)
積立型制度の退職給付債務	2,675,015 千円	2,468,195 千円
年金資産	2,583,927	2,425,752
	91,087	42,442
非積立型制度の退職給付債務	1,048,506	1,114,583
未積立退職給付債務	1,139,593	1,157,025
未認識数理計算上の差異	205,679	281,343
未認識過去勤務費用	288,681	223,319
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	1,056,591	1,215,049
退職給付引当金	1,246,300	1,333,882
前払年金費用	189,708	118,832
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	1,056,591	1,215,049

(4)退職給付費用及びその内訳項目の金額

	第37期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
勤務費用	198,457 千円	196,190 千円
利息費用	21,549	25,925
期待運用収益	47,588	46,453
数理計算上の差異の費用処理額	3,547	6,532

過去勤務費用の費用処理額	65,361	65,361
その他	109,013	1,600
確定給付制度に係る退職給付費用	343,245	236,091

（注）「その他」は受入出向者に係る出向元への退職給付費用負担額及び退職金です。

(5)年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

	第37期 (2022年3月31日現在)	第38期 (2023年3月31日現在)
債券	62.0 %	63.6 %
株式	36.3	34.2
その他	1.7	2.2
合計	100	100

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6)数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎

	第37期 (2022年3月31日現在)	第38期 (2023年3月31日現在)
割引率	0.078～0.72%	0.066～1.13%
長期期待運用収益率	1.5～1.8%	1.5～1.8%

3.確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度151,370千円、当事業年度152,084千円であります。

（税効果会計関係）

1.繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第37期 (2022年3月31日現在)	第38期 (2023年3月31日現在)
繰延税金資産		
減損損失	410,082千円	499,742千円
投資有価証券評価損	65,490	47,876
未払事業税	165,702	169,997
賞与引当金	288,528	260,221
役員賞与引当金	25,799	29,828
役員退職慰労引当金	36,112	23,169
退職給付引当金	381,617	408,434
減価償却超過額	145,316	227,100
差入保証金	-	52,869
長期差入保証金	52,869	-
時効後支払損引当金	76,615	77,865
連結納税適用による時価評価	35,311	35,311
その他	76,257	177,003
繰延税金資産 小計	1,759,702	2,009,420
評価性引当額	-	-
繰延税金資産 合計	1,759,702	2,009,420

繰延税金負債

前払年金費用	58,088	36,386
連結納税適用による時価評価	1,149	1,098
その他有価証券評価差額金	717,957	296,702
その他	101	101
繰延税金負債 合計	777,296	334,288
繰延税金資産の純額	982,406	1,675,132

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳
第37期（2022年3月31日現在）及び第38期（2023年3月31日現在）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

3. 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、当事業年度から、グループ通算制度を適用しております。また、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日）に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

（収益認識関係）

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

収益及び契約から生じるキャッシュ・フローの性質、金額、時期及び不確実性に影響を及ぼす主要な要因に基づく区分に当該収益を分解した情報については、重要性が乏しいため記載を省略しております。

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は、「（重要な会計方針）の6. 収益および費用の計上基準」に記載のとおりであります。

3. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から翌事業年度以降に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

第37期（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）及び第38期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第37期（自2021年4月1日 至 2022年3月31日）及び第38期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

（1）営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

（2）有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

第37期（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (注5)	科目	期末残高 (注5)
親会社	㈱三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	東京都 千代田 区	2,141,513 百万円	銀行持株 会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税	連結納税に伴う支払 (注1)	4,062,765 千円	その他未払金	3,887,520 千円
親会社	三菱UFJ 信託銀行㈱	東京都 千代田 区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 100.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払 (注2)	5,153,589 千円	未払手数料	836,105 千円
						投資の助言 役員の兼任	投資助言料 (注3)	499,388 千円	未払費用	272,264 千円

第38期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (注5)	科目	期末残高 (注5)
親会社	㈱三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	東京都 千代田 区	2,141,513 百万円	銀行持株 会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税等	連結納税等に伴う支払 (注4)	3,947,200 千円	その他未払金	77,007 千円
親会社	三菱UFJ 信託銀行㈱	東京都 千代田 区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 100.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払 (注2)	4,893,312 千円	未払手数料	790,279 千円
						投資の助言 役員の兼任	投資助言料 (注3)	463,416 千円	未払費用	253,093 千円

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 1. 連結納税制度に基づく連結法人税の支払予定額であります。

2. 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

3. 投資助言料については、市場実勢を勘案して決定しております。

4. 連結納税制度及びグループ通算制度に基づく法人税の支払予定額であります。

5. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

(2) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等

第37期（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注2)	科目	期末残高 (注2)
同一の親会社を持つ会社	㈱三菱UFJ銀行	東京都千代田区	1,711,958 百万円	銀行業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払 (注1)	4,097,951 千円	未払手数料	838,058 千円
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱	東京都千代田区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払 (注1)	7,025,984 千円	未払手数料	1,319,958 千円

第38期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注2)	科目	期末残高 (注2)
同一の親会社を持つ会社	㈱三菱UFJ銀行	東京都千代田区	1,711,958 百万円	銀行業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払 (注1)	4,052,979 千円	未払手数料	868,785 千円
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱	東京都千代田区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払 (注1)	6,661,991 千円	未払手数料	1,218,051 千円

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 1. 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

2. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

2. 親会社に関する注記

株式会社三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ（東京証券取引所、名古屋証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場）

三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社（非上場）

（１株当たり情報）

	第37期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	400,322.84円	415,979.76円
1株当たり当期純利益金額	57,424.97円	48,881.17円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第37期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益金額 (千円)	12,150,032	10,342,327
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益金額 (千円)	12,150,032	10,342,327
普通株式の期中平均株式数 (株)	211,581	211,581

5【その他】

<訂正前>

定款の変更等

定款について2023年10月1日付で以下の変更を行います。

・商号の変更（三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社に変更）

訴訟事件その他重要事項

該当事項はありません。

<訂正後>

定款の変更等

定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

訴訟事件その他重要事項

委託会社は2023年10月1日にエム・ユー投資顧問株式会社の有価証券運用事業を三菱ＵＦＪ国際投信株式会社へ統合し、商号を三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社に変更しました。

上記以外、該当事項はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

<更新後>

(1) 受託会社

名称：三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社

(再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

資本金の額：324,279百万円(2023年3月末現在)

事業の内容：銀行業務および信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

名称	資本金の額 (2023年3月末現在)	事業の内容
----	-----------------------	-------

三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社	324,279 百万円	銀行業務および信託業務を営んでいます。
---------------	-------------	---------------------

3【資本関係】

<訂正前>

委託会社と関係法人の主な資本関係は次の通りです。（2023年2月末現在）

三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社は委託会社の株式の100.0%（211,581株）を所有しています。

（注）関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株比率が3%以上のものを記載しています。

<訂正後>

委託会社と関係法人の主な資本関係は次の通りです。（2023年10月1日現在）

三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社は委託会社の株式の100.0%（211,581株）を所有しています。

（注）関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株比率が3%以上のものを記載しています。

独 立 監 査 人 の 中 間 監 査 報 告 書

2023年10月11日

三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社

取締役会 御 中

P w C あらた有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 大畑 茂
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 西郷 篤
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている国内株式セクション（ラップ向け）の2023年2月7日から2023年8月6日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、国内株式セクション（ラップ向け）の2023年8月6日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2023年2月7日から2023年8月6日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）１． 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

２． XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2023年6月9日

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ
東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 青木 裕晃

指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 伊藤 鉄也

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱ＵＦＪ国際投信株式会社の2022年4月1日から2023年3月31日までの第38期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱ＵＦＪ国際投信株式会社の2023年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）１． 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

２． XBRLデータは監査の対象には含まれていません。